

# 島根原子力発電所周辺 環境放射線等調査結果

平成27年度 第4・四半期

島 根 県

## ま え が き

「平成27年度島根原子力発電所周辺環境放射線等測定計画」に基づき、発電所周辺地域の環境放射線等の調査を行った。

この報告書は、平成28年1月から3月の測定結果について、

「島根原子力発電所周辺環境放射線等測定技術会」において検討、確認されたものを取りまとめたものである。

# 目 次

## I. 環境放射線関係

1. 調査機関	1
2. 調査項目及び測定法	1
3. 評価と調査結果の概要	2
4. 調査項目別測定結果	7
(1) 空間放射線	7
1) 積算線量	7
2) 線量率	8
(2) 地表面における人工放射能	20
(3) 環境試料中の放射能	21
1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種	21
2) トリチウム	28
3) ストロンチウム90	29
(付図)	30

## II. 温排水関係

1. 調査機関	33
2. 調査項目及び測定法	33
3. 今期の島根原子力発電所の運転状況	33
(別図) 温排水測定定点図	34
4. 調査結果の概要	35
(1) 沖合定線	35
(2) 格子状定線	37
(3) 沿岸定点	38
(4) 水色	39
〔添付資料〕	
資料1-1 島根原子力発電所 沖合定線の水温	40
資料1-2 島根原子力発電所 沖合定線の水温水平分布図	41
資料1-3 島根原子力発電所 沖合定線の水温鉛直分布図	43
資料1-4 島根原子力発電所 基準水温より水温が高かった定点の過去の出現範囲	44
資料2-1 島根原子力発電所 格子状定線の水温	45
資料2-2 島根原子力発電所 格子状定線の水温水平分布図	49
資料2-3 島根原子力発電所 格子状定線の水温鉛直分布図	51
資料3-1 島根原子力発電所 沿岸定点の水温	53
資料3-2 島根原子力発電所 沿岸定点の水温推移	56
資料3-3 島根原子力発電所 沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果	57

## III. 参考資料

1. 島根原子力発電所敷地内におけるモニタリングポスト測定結果	59
2. 島根原子力発電所における放射性廃棄物管理の状況	60
3. 島根原子力発電所の運転状況	62
4. 環境放射能の検出下限値	63
5. 平成28年度1月4日に発生した空間放射線量率の上昇について	73
6. 格子状定線測定温度分布図	74
用語の解説	78

# I 環境放射線關係

## 調査内容

平成28年1月～3月の調査内容は次のとおりである。

### 1. 調査機関 島根県、中国電力株式会社

### 2. 調査項目及び測定法

調査項目		測定機関	測定法		測定機器	
空間 放射 線	積算線量	島根県 中国電力	文部科学省編 「蛍光ガラス線量計を用いた環境 γ線量測定法」による。		蛍光ガラス線量計 (RPLD)	
	線量率 (モニタリングポスト)	島根県	エネルギー補償方式		NaI(Tl)シンチレーション 検出器(深田北、北講武及 び片句はゲルマニウム半導 体検出器によるγ線エネ ルギー弁別装置付き)	
人工放射能面密度		島根県	ゲルマニウム半導体検出器による in-situ測定		高分解能γ線スペクトロメ ータ(高純度ゲルマニウム 検出器)	
環境 試料 中の 放射 能	ガン マ 線 放 出 核 種	浮遊塵	島根県	計測試料	文部科学省編 「ゲルマニウム 半導体検出器 によるγ線ス ペクトロメ トリ」による。	高分解能γ線スペクトロメ ータ(高純度ゲルマニウム 検出器)
		陸地土	島根県 中国電力	捕集フィルター		
		海水		乾物		
		陸水		吸着物		
		牛乳		濃縮物		
		植物 農産物 海産物		生試料		
				灰化物(ヨウ素 131以外の核種)		
トリチウム	海陸 水	島根県 中国電力	文部科学省編 「トリチウム分析法」による。		低バックグラウンド 液体シンチレーション 計数装置	
ストロンチウム 90	農産物 海陸 水 土	島根県	文部科学省編 「放射性ストロンチウム分析法」 による。		低バックグラウンド ガスフロー計数装置	

### 3. 評価と調査結果の概要

#### (1) 評価結果

今期の調査結果について、各々の測定項目ごとに詳細な検討を行ったが、島根原子力発電所による影響は認められなかった。

#### (2) 調査結果の概要

##### 1) 空間放射線

###### a) 積算線量 (P7)

片句地点、御津地点及び古浦地点を除くすべての地点で、平常の変動幅内であった。

片句地点については平成 25 年度に、御津地点及び古浦地点については平成 26 年度に実施した局舎更新に伴う測定環境の変化および場所の移動を行ったため、平常の変動幅は未設定である。

###### b) 線量率 (モニタリングポストによる測定) (P17~19)

1 月に佐陀本郷、末次、大芦、手結南、池平、名分、魚瀬、上大野、東長江、比津、持田、大芦別所、加賀、出雲、安来、雲南、2 月に佐陀本郷、末次、大芦、上講武、手結、手結南、池平、名分、魚瀬、上大野、東長江、比津、持田、大芦別所、加賀、出雲、安来、雲南において平常の変動幅を超える線量率が測定された。いずれも降水による線量率の増加であった。なお、平成 28 年 1 月 4 日 10 時 56 分~11 時 16 分に末次において急激な上昇が見られ、このことについて調査した結果、降水や発電所からの影響によるものではなかったため、統計処理から除外した。詳細は参考資料 5 (P73) のとおりである。

深田北、片句、北講武については平成 25 年度に、西浜佐陀、御津、古浦については平成 26 年度に局舎の更新・移設を行ったため、平常の変動幅は未設定である。

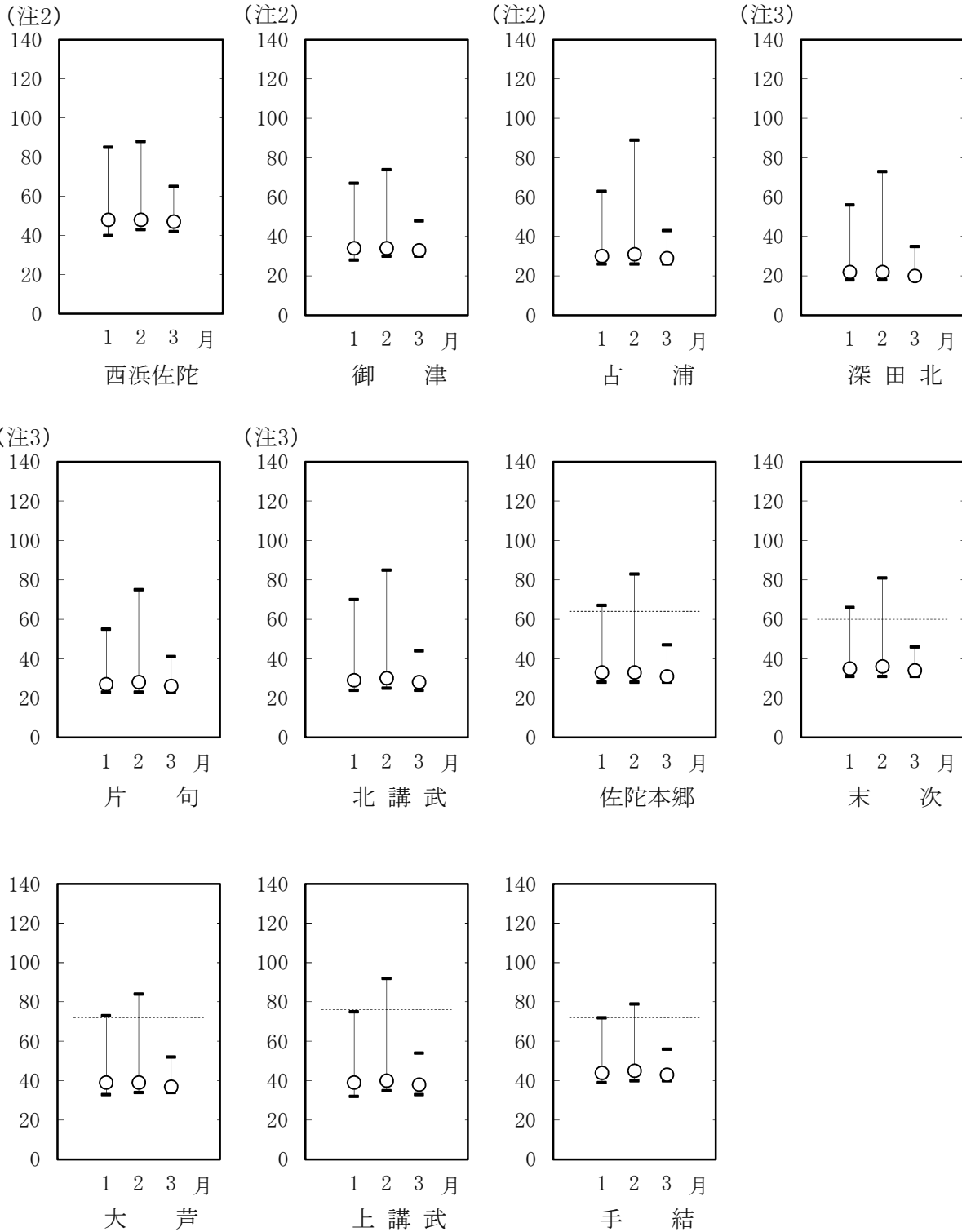
##### 2) 環境試料中の放射能

###### a) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種 (P21~27)

今期の試料から対象核種は検出されなかった。

###### b) ストロンチウム 90 (P29)

今期は農作物からストロンチウム 90 が検出されたが、平常の変動幅内であり過去の大気圏内核実験等によるものと考えられる。



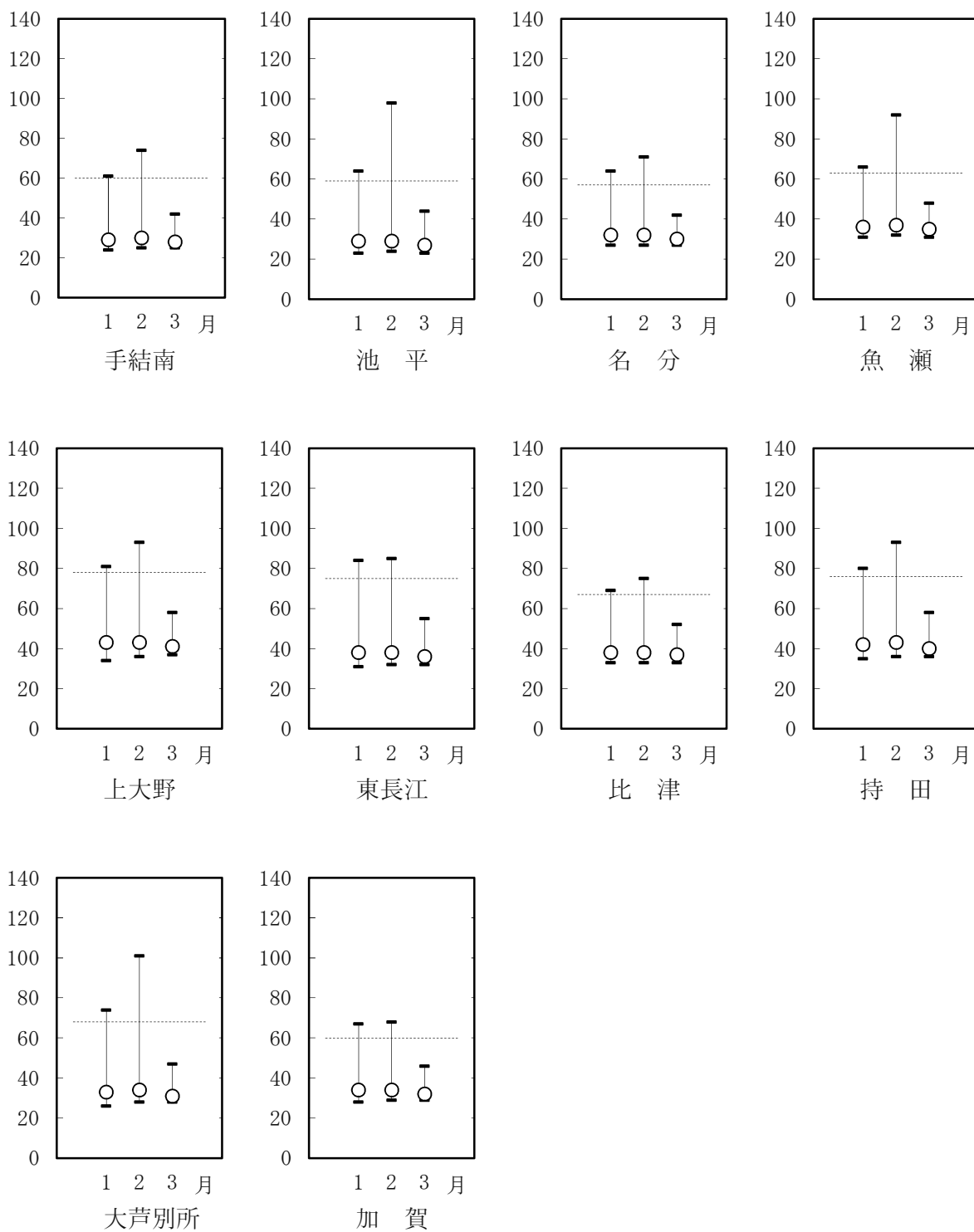
モニタリングポスト各局の月間の平均値、最高値及び最低値（単位：nGy/h）

最高値      ..... 平常の変動幅(上限)  
 ○          平均値  
 最低値

注1：モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間（移設等があった場合は2年間以上）の全データから求めた累積相対度数分布の（平均値±標準偏差×3）相当の範囲である。

注2：平成26年度に局舎の移設・更新をしたため「平常の変動幅」は未設定である。

注3：平成25年度に局舎の移設・更新をしたため「平常の変動幅」は未設定である。

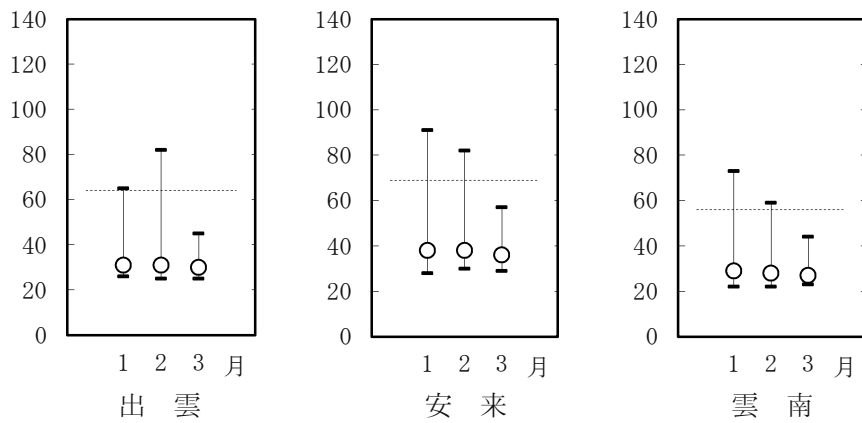


モニタリングポスト各局の月間の平均値、最高値及び最低値（単位：nGy/h）

最高値      ..... 平常の変動幅(上限)  
 ○      平均値  
 最低値

注1：モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間（移設等があった場合は2年間以上）の全データから求めた累積相対度数分布の（平均値±標準偏差×3）相当の範囲である。





モニタリングポスト各局の月間の平均値、最高値及び最低値（単位：nGy/h）

最高値
 


 平常の変動幅(上限)

平均値

最低値

注1：モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間（移設等があった場合は2年間以上）の全データから求めた累積相対度数分布の（平均値±標準偏差×3）相当の範囲である。

## 環 境 試 料 中 の 放 射 能

### ガンマ線スペクトロメトリー対象核種

試料名		測定 試料数	測定結果					前年同期の <sup>137</sup> Cs	単位	
			<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I			<sup>137</sup> Cs
浮遊塵		9	ND	ND	ND	ND	/	ND	(注2)	mBq/ℓ
牛乳	原乳	1	/	/	/	/	ND	/	ND( <sup>131</sup> I)	mBq/ℓ
海産物	なまこ	2	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	Bq/kg (生)
	さざえ	肉	2	ND	ND	ND	ND	/	ND	
		内臓	2	ND	ND	ND	ND	/	ND	
	岩のり	1	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

2. 前年度10～3月については、局舎更新に伴いサンプリングを停止したので欠測とした。

### ストロンチウム90

試料名	測定試料数	測定値	前年同期の測定値	単位
ほうれん草	1	0.08	0.04	Bq/kg (生)

(注) NDは検出下限値未満を示す。

#### 4. 調査項目別測定結果

##### (1) 空間放射線

##### 1) 積算線量

単 位：【 mGy/90 日 】

測定地点	測定値				平常の変動幅	年間線量 (mGy/365日)	測定者	備考
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月				
一 矢	0.15	0.15	0.15	0.15	0.14~0.17	0.61	中国電力	
佐 陀 本 郷	0.13	0.13	0.13	0.13	0.12~0.14	0.53	〃	
深 田	0.12	0.12	0.12	0.12	0.11~0.13	0.49	〃	
片 句	0.12	0.13	0.13	0.13	(0.12~0.13) (注3)	0.52	島根県	
	0.13	0.13	0.13	0.13		0.53	中国電力	
御 津	0.14	0.15	0.14	0.14	(注4)	0.58	島根県	
	0.14	0.14	0.14	0.14		0.57	中国電力	
旦 過	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13~0.15	0.53	〃	
古 浦	0.13	0.13	0.13	0.13	(注4)	0.52	島根県	
	0.13	0.13	0.13	0.13		0.53	中国電力	
恵 曇	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12~0.14	0.49	〃	
手 結	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10~0.12	0.45	〃	
上 講 武	0.14	0.15	0.15	0.14	0.14~0.16	0.59	島根県	
南 講 武	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12~0.13	0.49	〃	
	0.12	0.12	0.12	0.12		0.49	中国電力	
佐 陀 宮 内	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15~0.16	0.61	島根県	
大 芦	0.14	0.15	0.14	0.14	0.14~0.15	0.58	〃	
加 賀	0.12	0.13	0.13	0.13	0.12~0.14	0.52	〃	
西 生 馬	0.15	0.16	0.15	0.15	0.15~0.17	0.63	〃	
西 川 津	0.13	0.14	0.14	0.13	0.13~0.14	0.55	〃	

- (注) 1. 測定方法 蛍光ガラス線量計 (RPLD) で測定した。  
 2. 積算線量の「平常の変動幅」は前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲である。  
 3. 片句地点は平成25年度に局舎更新に伴って測定地点を変更したため「平常の変動幅」は未設定である。  
 なお、参考として平成26年度の変動幅を記載した。  
 4. 御津地点、古浦地点は平成26年度に局舎更新に伴って測定地点を変更したため「平常の変動幅」は未設定である。

## 2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位：【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		4 月	5 月	6 月		
西 浜 佐 陀	平 均 値	48	49	49	(注5)	
	最 高 値	71	79	79		
	最 低 値	43	45	44		
御 津	平 均 値	32	33	33	(注5)	
	最 高 値	51	55	66		
	最 低 値	27	30	29		
古 浦	平 均 値	29	29	30	(注5)	
	最 高 値	48	52	62		
	最 低 値	25	26	26		
深 田 北	平 均 値	21	21	22	(注6)	
	最 高 値	43	47	57		
	最 低 値	18	18	18		
片 旬	平 均 値	26	26	27	(注6)	
	最 高 値	49	51	70		
	最 低 値	22	23	22		
北 講 武	平 均 値	28	28	29	(注6)	
	最 高 値	52	56	64		
	最 低 値	25	23	24		
佐 陀 本 郷	平 均 値	32	32	33	6 4	
	最 高 値	52	57	66		
	最 低 値	28	29	28		
末 次	平 均 値	35	35	36	6 0	
	最 高 値	55	54	54		
	最 低 値	30	32	31		
大 芦	平 均 値	38	38	38	7 2	
	最 高 値	60	62	80		
	最 低 値	34	35	34		
上 講 武	平 均 値	39	38	38	7 6	
	最 高 値	62	65	77		
	最 低 値	34	34	34		
手 結	平 均 値	43	43	44	7 2	
	最 高 値	62	65	83		
	最 低 値	40	40	40		

- (注) 1. 測定者 島根県  
 2. 測定方法 3”φ球形NaI(Tl)シンチレーション検出器（エネルギー補償型）を使用し、50keV～3MeVのエネルギー範囲で測定した。  
 3. 測定値は、2分値である。  
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間（移設等があった場合は2年間以上）の全データから求めた累積相対度数分布の（平均値±標準偏差×3）相当の範囲である。  
 5. 平成26年度に局舎の移設・更新をしたため「平常の変動幅」は未設定である。  
 6. 平成25年度に局舎の移設・更新をしたため「平常の変動幅」は未設定である。

## 2) 線量率

### a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		4月	5月	6月		
手 結 南	平 均 値	28	28	29	6 0	
	最 高 値	48	55	69		
	最 低 値	24	24	24		
池 平	平 均 値	26	25	26	5 9	
	最 高 値	52	52	64		
	最 低 値	22	22	22		
名 分	平 均 値	31	31	31	5 7	
	最 高 値	48	53	60		
	最 低 値	26	27	27		
魚 瀬	平 均 値	35	36	36	6 3	
	最 高 値	54	58	64		
	最 低 値	31	32	31		
上 大 野	平 均 値	42	43	43	7 8	
	最 高 値	63	69	77		
	最 低 値	37	38	37		
東 長 江	平 均 値	37	38	39	7 5	
	最 高 値	60	71	75		
	最 低 値	32	34	33		
比 津	平 均 値	37	38	38	6 7	
	最 高 値	60	63	65		
	最 低 値	33	34	33		
持 田	平 均 値	41	41	42	7 6	
	最 高 値	70	67	68		
	最 低 値	36	37	36		
大 芦 別 所	平 均 値	32	32	33	6 8	
	最 高 値	57	62	75		
	最 低 値	28	29	28		
加 賀	平 均 値	33	33	33	6 0	
	最 高 値	53	55	70		
	最 低 値	29	29	28		

- (注)
1. 測定者 島根県
  2. 測定方法 2" φ円筒形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV~3MeVのエネルギー範囲で測定した。
  3. 測定値は、2分値である。
  4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。

## 2) 線量率

### a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		4 月	5 月	6 月		
出 雲	平 均 値	32	32	33	6 4	
	最 高 値	57	63	68		
	最 低 値	26	28	27		
安 来	平 均 値	37	37	35	6 9	
	最 高 値	61	61	62		
	最 低 値	31	29	28		
雲 南	平 均 値	27	28	28	5 6	
	最 高 値	51	51	59		
	最 低 値	23	23	23		

- (注)
1. 測定者 島根県
  2. 測定方法 2” φ円筒形 NaI(Tl)シンチレーション検出器（エネルギー補償型）を使用し、50 keV～3 MeV のエネルギー範囲で測定した。
  3. 測定値は、2分値である。
  4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間（移設等があった場合は2年間以上）の全データから求めた累積相対度数分布の（平均値±標準偏差×3）相当の範囲である。

## 2) 線量率

### a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		7 月	8 月	9 月		
西 浜 佐 陀	平 均 値	48	50	48	(注5)	
	最 高 値	82	92	76		
	最 低 値	44	44	43		
御 津	平 均 値	33	33	33	(注5)	
	最 高 値	64	57	55		
	最 低 値	29	30	29		
古 浦	平 均 値	29	30	29	(注5)	
	最 高 値	61	65	50		
	最 低 値	26	26	25		
深 田 北	平 均 値	21	21	21	(注6)	
	最 高 値	56	56	43		
	最 低 値	18	18	18		
片 句	平 均 値	26	26	26	(注6)	
	最 高 値	62	59	49		
	最 低 値	23	23	23		
北 講 武	平 均 値	28	29	28	(注6)	
	最 高 値	62	56	54		
	最 低 値	25	24	24		
佐 陀 本 郷	平 均 値	31	32	32	6 4	
	最 高 値	63	64	52		
	最 低 値	28	28	28		
末 次	平 均 値	35	35	34	6 0	
	最 高 値	57	53	58		
	最 低 値	31	31	31		
大 芦	平 均 値	37	38	38	7 2	
	最 高 値	72	65	68		
	最 低 値	34	34	34		
上 講 武	平 均 値	37	39	38	7 6	
	最 高 値	70	64	61		
	最 低 値	33	34	34		
手 結	平 均 値	43	44	44	7 2	
	最 高 値	71	76	63		
	最 低 値	40	40	40		

- (注)
1. 測定者 島根県
  2. 測定方法 3" φ球形 NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV~3MeVのエネルギー範囲で測定した。
  3. 測定値は、2分値である。
  4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。
  5. 平成26年度に局舎の移設・更新をしたため「平常の変動幅」は未設定である。
  6. 平成25年度に局舎の移設・更新をしたため「平常の変動幅」は未設定である。

## 2) 線量率

### a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		7月	8月	9月		
手 結 南	平 均 値	28	28	28	6 0	
	最 高 値	63	63	51		
	最 低 値	24	25	24		
池 平	平 均 値	25	26	26	5 9	
	最 高 値	61	61	51		
	最 低 値	22	21	22		
名 分	平 均 値	31	31	31	5 7	
	最 高 値	58	53	52		
	最 低 値	26	27	26		
魚 瀬	平 均 値	35	36	35	6 3	
	最 高 値	67	64	54		
	最 低 値	30	31	31		
上 大 野	平 均 値	42	43	42	7 8	
	最 高 値	73	86	63		
	最 低 値	37	37	36		
東 長 江	平 均 値	37	39	37	7 5	
	最 高 値	71	75	63		
	最 低 値	33	33	32		
比 津	平 均 値	37	38	37	6 7	
	最 高 値	67	61	59		
	最 低 値	33	33	33		
持 田	平 均 値	40	41	41	7 6	
	最 高 値	71	69	70		
	最 低 値	36	36	34		
大 芦 別 所	平 均 値	32	33	32	6 8	
	最 高 値	70	62	64		
	最 低 値	28	28	28		
加 賀	平 均 値	33	33	33	6 0	
	最 高 値	63	55	55		
	最 低 値	29	28	29		

- (注)
1. 測定者 島根県
  2. 測定方法 2" φ円筒形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV~3MeVのエネルギー範囲で測定した。
  3. 測定値は、2分値である。
  4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。



## 2) 線量率

### a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区分	測定値			平常の変動幅 (上限)	備考
		7月	8月	9月		
出雲	平均値	32	32	32	64	
	最高値	71	67	61		
	最低値	26	27	27		
安来	平均値	36	36	36	69	
	最高値	69	66	65		
	最低値	29	30	29		
雲南	平均値	28	29	29	56	
	最高値	61	56	59		
	最低値	23	24	24		

- (注)
1. 測定者 島根県
  2. 測定方法 2” φ円筒形 NaI(Tl)シンチレーション検出器（エネルギー補償型）を使用し、50 keV～3 MeV のエネルギー範囲で測定した。
  3. 測定値は、2分値である。
  4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間（移設等があった場合は2年間以上）の全データから求めた累積相対度数分布の（平均値±標準偏差×3）相当の範囲である。

## 2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		10月	11月	12月		
西 浜 佐 陀	平 均 値	48	48	49	(注5)	
	最 高 値	81	93	82		
	最 低 値	44	43	43		
御 津	平 均 値	33	34	34	(注5)	
	最 高 値	66	82	68		
	最 低 値	28	30	30		
古 浦	平 均 値	29	31	30	(注5)	
	最 高 値	66	77	62		
	最 低 値	26	26	26		
深 田 北	平 均 値	21	22	22	(注6)	
	最 高 値	53	56	66		
	最 低 値	19	18	18		
片 匂	平 均 値	26	28	27	(注6)	
	最 高 値	64	59	67		
	最 低 値	23	23	23		
北 講 武	平 均 値	28	30	30	(注6)	
	最 高 値	69	91	99		
	最 低 値	25	25	25		
佐 陀 本 郷	平 均 値	32	33	33	6 4	
	最 高 値	68	82	70		
	最 低 値	29	29	28		
末 次	平 均 値	35	36	36	6 0	
	最 高 値	56	68	62		
	最 低 値	31	31	31		
大 芦	平 均 値	38	39	39	7 2	
	最 高 値	73	74	80		
	最 低 値	35	35	35		
上 講 武	平 均 値	38	40	40	7 6	
	最 高 値	81	104	87		
	最 低 値	35	34	34		
手 結	平 均 値	43	44	44	7 2	
	最 高 値	78	70	69		
	最 低 値	40	40	40		

- (注) 1. 測定者 島根県  
 2. 測定方法 3”φ球形 NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV~3MeVのエネルギー範囲で測定した。  
 3. 測定値は、2分値である。  
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。  
 5. 平成26年度に局舎の移設・更新をしたため「平常の変動幅」は未設定である。  
 6. 平成25年度に局舎の移設・更新をしたため「平常の変動幅」は未設定である。

## 2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位：【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		10月	11月	12月		
手 結 南	平 均 値	29	30	29	6 0	
	最 高 値	68	59	56		
	最 低 値	25	24	24		
池 平	平 均 値	27	29	29	5 9	
	最 高 値	66	85	68		
	最 低 値	23	24	24		
名 分	平 均 値	31	32	32	5 7	
	最 高 値	65	71	64		
	最 低 値	26	27	27		
魚 瀬	平 均 値	35	36	36	6 3	
	最 高 値	71	68	76		
	最 低 値	32	31	31		
上 大 野	平 均 値	43	43	43	7 8	
	最 高 値	80	91	89		
	最 低 値	38	37	37		
東 長 江	平 均 値	38	38	38	7 5	
	最 高 値	85	90	106		
	最 低 値	33	33	32		
比 津	平 均 値	37	38	38	6 7	
	最 高 値	70	83	81		
	最 低 値	34	33	33		
持 田	平 均 値	41	42	42	7 6	
	最 高 値	79	95	126		
	最 低 値	35	35	37		
大 芦 別 所	平 均 値	33	34	33	6 8	
	最 高 値	82	93	80		
	最 低 値	30	28	28		
加 賀	平 均 値	33	34	34	6 0	
	最 高 値	64	73	76		
	最 低 値	29	29	29		

- (注)
1. 測定者 島根県
  2. 測定方法 2” φ円筒形 NaI(Tl)シンチレーション検出器（エネルギー補償型）を使用し、50 keV～3 MeVのエネルギー範囲で測定した。
  3. 測定値は、2分値である。
  4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間（移設等があった場合は2年間以上）の全データから求めた累積相対度数分布の（平均値±標準偏差×3）相当の範囲である。

## 2) 線量率

### a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		10月	11月	12月		
出 雲	平 均 値	32	33	32	6 4	
	最 高 値	67	64	68		
	最 低 値	27	27	26		
安 来	平 均 値	38	38	38	6 9	
	最 高 値	70	70	93		
	最 低 値	32	31	31		
雲 南	平 均 値	29	30	30	5 6	
	最 高 値	60	63	66		
	最 低 値	24	24	23		

- (注)
1. 測定者 島根県
  2. 測定方法 2”φ円筒形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV～3MeVのエネルギー範囲で測定した。
  3. 測定値は、2分値である。
  4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。

## 2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		1月	2月	3月		
西 浜 佐 陀	平 均 値	48	48	47	(注5)	
	最 高 値	85	88	65		
	最 低 値	40	43	42		
御 津	平 均 値	34	34	33	(注5)	
	最 高 値	67	74	48		
	最 低 値	28	30	30		
古 浦	平 均 値	30	31	29	(注5)	
	最 高 値	63	89	43		
	最 低 値	26	26	26		
深 田 北	平 均 値	22	22	20	(注6)	
	最 高 値	56	73	35		
	最 低 値	18	18	18		
片 句	平 均 値	27	28	26	(注6)	
	最 高 値	55	75	41		
	最 低 値	23	23	23		
北 講 武	平 均 値	29	30	28	(注6)	
	最 高 値	70	85	44		
	最 低 値	24	25	24		
佐 陀 本 郷	平 均 値	33	33	31	6 4	
	最 高 値	67	83	47		
	最 低 値	28	28	28		
末 次	平 均 値	35	36	34	6 0	
	最 高 値	66	81	46		
	最 低 値	31	31	31		
大 芦	平 均 値	39	39	37	7 2	
	最 高 値	73	84	52		
	最 低 値	33	34	34		
上 講 武	平 均 値	39	40	38	7 6	
	最 高 値	75	92	54		
	最 低 値	32	35	33		
手 結	平 均 値	44	45	43	7 2	
	最 高 値	72	79	56		
	最 低 値	39	40	40		

- (注)
1. 測定者 島根県
  2. 測定方法 3" φ球形 NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50 keV~3 MeVのエネルギー範囲で測定した。
  3. 測定値は、2分値である。
  4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。
  5. 平成26年度に局舎の移設・更新をしたため「平常の変動幅」は未設定である。
  6. 平成25年度に局舎の移設・更新をしたため「平常の変動幅」は未設定である。

## 2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		1月	2月	3月		
手 結 南	平 均 値	29	30	28	6 0	
	最 高 値	61	74	42		
	最 低 値	24	25	25		
池 平	平 均 値	29	29	27	5 9	
	最 高 値	64	98	44		
	最 低 値	23	24	23		
名 分	平 均 値	32	32	30	5 7	
	最 高 値	64	71	42		
	最 低 値	27	27	27		
魚 瀬	平 均 値	36	37	35	6 3	
	最 高 値	66	92	48		
	最 低 値	31	32	31		
上 大 野	平 均 値	43	43	41	7 8	
	最 高 値	81	93	58		
	最 低 値	34	36	37		
東 長 江	平 均 値	38	38	36	7 5	
	最 高 値	84	85	55		
	最 低 値	31	32	32		
比 津	平 均 値	38	38	37	6 7	
	最 高 値	69	75	52		
	最 低 値	33	33	33		
持 田	平 均 値	42	43	40	7 6	
	最 高 値	80	93	58		
	最 低 値	35	36	36		
大 芦 別 所	平 均 値	33	34	31	6 8	
	最 高 値	74	101	47		
	最 低 値	26	28	28		
加 賀	平 均 値	34	34	32	6 0	
	最 高 値	67	68	46		
	最 低 値	28	29	29		

- (注)
1. 測定者 島根県
  2. 測定方法 2" φ円筒形 NaI(Tl)シンチレーション検出器（エネルギー補償型）を使用し、50keV～3MeVのエネルギー範囲で測定した。
  3. 測定値は、2分値である。
  4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間（移設等があった場合は2年間以上）の全データから求めた累積相対度数分布の（平均値±標準偏差×3）相当の範囲である。

## 2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)	備 考
		1月	2月	3月		
出 雲	平 均 値	31	31	30	6 4	
	最 高 値	65	82	45		
	最 低 値	26	25	25		
安 来	平 均 値	38	38	36	6 9	
	最 高 値	91	82	57		
	最 低 値	28	30	29		
雲 南	平 均 値	29	28	27	5 6	
	最 高 値	73	59	44		
	最 低 値	22	22	23		

- (注)
- 測定者 島根県
  - 測定方法 2” φ円筒形NaI(Tl)シンチレーション検出器（エネルギー補償型）を使用し、50 keV～3 MeVのエネルギー範囲で測定した。
  - 測定値は、2分値である。
  - モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間（移設等があった場合は2年間以上）の全データから求めた累積相対度数分布の（平均値±標準偏差×3）相当の範囲である。

(2) 地表面における人工放射能  
1) 人工放射能面密度

単 位 : 【 kBq/m<sup>2</sup> 】

測定地点	測定月日	対 象 核 種						<sup>137</sup> Cs 平常の変動幅	備考
		<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>137</sup> Cs		
片 句	5月29日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注5)	
	11月20日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
手 結	5月29日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	11月20日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
古 浦	5月29日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.02	
	11月16日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
佐 陀 本 郷	5月31日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.03	
	11月20日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
西 生 馬	5月31日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.01	
	11月24日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
西 川 津	5月29日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.06	
	11月20日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
加 賀	5月29日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.01	
	11月16日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
大 芦	5月29日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.03	
	11月16日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
御 津	5月29日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.01	
	11月16日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
上 講 武	5月29日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	11月16日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
北 講 武	5月29日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注5)	
	11月16日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
佐 陀 宮 内	5月29日	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.01~0.05	
	11月20日	ND	ND	ND	ND	ND	0.05		
西 浜 佐 陀	5月31日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注6)	
	11月24日	ND	ND	ND	ND	ND	ND		

- (注) 1. 測定者 島根県  
 2. 測定方法 ゲルマニウム半導体検出器による in-situ 測定 (地上高1m)  
 3. 対象核種は地表面分布していると仮定した。  
 4. <sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲である。  
 5. 片句地点、北講武地点は平成25年度の局舎更新に伴って、平成26年度から測定地点を変更したため「平常の変動幅」は未設定である。  
 6. 西浜佐陀地点は平成26年度の局舎更新に伴って、環境が変化したため「平常の変動幅」は未設定である。



(3) 環境試料中の放射能

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種

浮遊塵

単位:【 $\mu\text{Bq}/\text{m}^3$ 】

採取地点	採取期間	対象核種					天然核種		測定者	$^{137}\text{Cs}$ 平常の変動幅
		$^{54}\text{Mn}$	$^{59}\text{Fe}$	$^{58}\text{Co}$	$^{60}\text{Co}$	$^{137}\text{Cs}$	$^7\text{Be}$	$^{40}\text{K}$		
御津	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND	ND	4,700	ND	島根県	ND
	4月30日～6月1日	ND	ND	ND	ND	ND	5,700	ND	〃	
	6月1日～7月1日	ND	ND	ND	ND	ND	2,700	ND	〃	
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND	ND	1,100	ND	〃	
	7月31日～9月1日	ND	ND	ND	ND	ND	1,600	ND	〃	
	9月1日～10月2日	ND	ND	ND	ND	ND	3,000	ND	〃	
	10月2日～11月2日	ND	ND	ND	ND	ND	3,600	ND	〃	
	11月2日～12月2日	ND	ND	ND	ND	ND	2,500	ND	〃	
	12月2日～1月4日	ND	ND	ND	ND	ND	3,300	ND	〃	
	1月4日～2月1日	ND	ND	ND	ND	ND	2,900	ND	〃	
	2月1日～2月29日	ND	ND	ND	ND	ND	3,300	ND	〃	
	2月29日～4月1日	ND	ND	ND	ND	ND	3,200	ND	〃	
古浦	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND	ND	4,800	ND	島根県	ND
	4月30日～6月1日	ND	ND	ND	ND	ND	5,800	ND	〃	
	6月1日～7月1日	ND	ND	ND	ND	ND	3,000	ND	〃	
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND	ND	1,400	ND	〃	
	7月31日～9月1日	ND	ND	ND	ND	ND	1,900	ND	〃	
	9月1日～10月2日	ND	ND	ND	ND	ND	3,200	ND	〃	
	10月2日～11月2日	ND	ND	ND	ND	ND	3,800	ND	〃	
	11月2日～12月2日	ND	ND	ND	ND	ND	2,500	ND	〃	
	12月2日～1月4日	ND	ND	ND	ND	ND	3,500	ND	〃	
	1月4日～2月1日	ND	ND	ND	ND	ND	3,300	ND	〃	
	2月1日～2月29日	ND	ND	ND	ND	ND	3,400	ND	〃	
	2月29日～4月1日	ND	ND	ND	ND	ND	3,700	ND	〃	
西浜佐陀	(注4)4月13日～4月30日	ND	ND	ND	ND	ND	6,600	ND	島根県	(ND) (注3)
	4月30日～6月1日	ND	ND	ND	ND	ND	7,600	ND	〃	
	6月1日～7月1日	ND	ND	ND	ND	ND	4,200	ND	〃	
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND	ND	1,600	ND	〃	
	7月31日～9月1日	ND	ND	ND	ND	ND	2,400	ND	〃	
	9月1日～10月2日	ND	ND	ND	ND	ND	3,900	ND	〃	
	10月2日～11月2日	ND	ND	ND	ND	ND	4,700	ND	〃	
	11月2日～12月2日	ND	ND	ND	ND	ND	3,000	ND	〃	
	12月2日～1月4日	ND	ND	ND	ND	ND	4,000	ND	〃	
	1月4日～2月1日	ND	ND	ND	ND	ND	4,100	ND	〃	
	2月1日～2月29日	ND	ND	ND	ND	ND	4,000	ND	〃	
	2月29日～4月1日	ND	ND	ND	ND	ND	4,200	ND	〃	

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。  
 2.  $^{137}\text{Cs}$ 「平常の変動幅」は平成15～22年度及び平成25～26年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。  
 3. 西浜佐陀地点については、平成20年度より測定を開始したので、平成20～22年度及び平成25～26年度の値を参考値として記載した。  
 4. 西浜佐陀地点の4月1日から4月12日までは、機器故障のため試料採取できなかった。

陸 水

単 位 : 【 mBq/ℓ 】

	部 位	採 地 取 点	採 取 月 日	対 象 核 種					天 然 核 種		測 定 者	<sup>137</sup> Cs 平常の変動幅
				<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K		
池 水	表 層 水	一 矢 (注3)	5月14日	ND	ND	ND	ND	ND	19	69	島 根 県	ND
				ND	ND	ND	ND	ND	8.2	61	中国電力	
		上 講 武	5月22日	ND	ND	ND	ND	ND	6.8	34	〃	ND
水 道 原 水	着 水	古 志 浄 水 場 (注3)	5月14日	ND	ND	ND	ND	ND	28	25	島 根 県	ND
				ND	ND	ND	ND	ND	5.2	28	中国電力	
			11月17日	ND	ND	ND	ND	ND	11	29	島 根 県	
				ND	ND	ND	ND	ND	13	35	中国電力	
	井	忌 部 浄 水 場 (注3)	5月14日	ND	ND	ND	ND	ND	24	57	島 根 県	ND
				ND	ND	ND	ND	ND	14	41	中国電力	
			11月17日	ND	ND	ND	ND	ND	3.2	62	島 根 県	
				ND	ND	ND	ND	ND	8.7	70	中国電力	

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。  
 2. <sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は平成15～22年度及び平成25～26年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。  
 3. 同一地点で各測定者が採取し、各測定者が前処理を実施し、測定している。

植 物

単 位 : 【 Bq/kg(生) 】

試 料 名	部 位	採 地 取 点	採 取 月 日	対 象 核 種						天 然 核 種		測 定 者	<sup>137</sup> Cs 平常の変動幅
				<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K		
松 葉	2 年 葉	御 津	4月22日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	32	66	島 根 県	ND～0.06
		西 浜 佐 陀	11月17日 (注4)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	29	72	〃	(注3)
		深 田 北	10月7日	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	32	71	〃	(注3)
				ND	ND	ND	ND	ND	0.04	33	73	中国電力	

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。  
 2. <sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は平成15～22年度及び平成25～26年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。  
 3. 西浜佐陀地点及び深田北地点の<sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は、今年度から採取・測定を開始したため未設定である。  
 4. 第2四半期採取計画であったが、採取できなかったため、第3四半期に採取した。

## 農産物

単位：【 Bq/kg(生) 】

試料名	部位	採地 取点	採取月日	対象核種						天然核種		測定者	<sup>137</sup> Cs 平常の変動幅
				<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K		
大根	根	御津	12月8日	ND	ND	ND	ND	/	ND	0.23	77	島根県	ND
		根連木	4月9日	ND	ND	ND	ND	/	ND	0.48	63	中国電力	ND~0.06
			12月7日	ND	ND	ND	ND	/	ND	0.19	79	島根県	
ほうれん草	葉	御津	12月8日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12	240	〃	ND
		根連木	12月7日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	8.8	170	〃	ND~0.03
				ND	ND	ND	ND	/	ND	13	240	中国電力	
キャベツ	葉	御津	5月7日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	58	島根県	ND
		根連木	5月7日	ND	ND	ND	ND	/	ND	0.23	71	〃	ND~0.06
精米	/	尾坂	10月8日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.16	21	〃	ND
				ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	22	中国電力	
茶	葉	北講武 (注3)	5月11日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14	140	島根県	ND~0.06
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	16	160	中国電力	

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。  
 2. <sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は平成15~22年度及び平成25~26年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。  
 3. 同一地点で採取された試料を分割し、各測定者が前処理を実施し、測定している。

## 牛 乳

単 位 : 【 mBq/l 】

試 料 名	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種		測 定 者
			<sup>131</sup> I		
原 乳	南 講 武	4 月 9 日 (注3)	ND		島 根 県
			ND		中 国 電 力
		7 月 10 日	ND		島 根 県
		10 月 14 日 (注3)	ND		〃
			ND		中 国 電 力
1 月 15 日	ND		島 根 県		

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。  
 2. <sup>131</sup>Iのみが測定対象である。  
 3. 同一地点で採取された試料を分割し、各測定者が前処理を実施し、測定している。

## 陸 土 ( 濃 度 )

単 位 : 【 Bq/kg (乾物) 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					天 然 核 種		測 定 者	<sup>137</sup> Cs 平常の変動幅
			<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K		
表 層 土 (0~5 cm)	南 講 武	5 月 15 日	ND	ND	ND	ND	1.6	11	170	島 根 県	ND~2.1
	片 句	5 月 15 日	ND	ND	ND	ND	ND	8.2	680	〃	(ND~0.83) (注3)
	佐 陀 宮 内 (注6)	5 月 15 日	ND	ND	ND	ND	15	14	340	〃	1.9~27
			ND	ND	ND	ND	9.2	6.9	410	中国電力	
西 浜 佐 陀	5 月 22 日	ND	ND	ND	ND	ND	19	640	島 根 県	(1.0~3.5) (注4)	

## 陸 土 ( 面 密 度 )

単 位 : 【 kBq/m<sup>2</sup> 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					天 然 核 種	測 定 者	<sup>137</sup> Cs 平常の変動幅
			<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be		
表 層 土 (0~5 cm)	南 講 武	5 月 15 日	ND	ND	ND	ND	0.03	0.23	島 根 県	ND~0.11
	片 句	5 月 15 日	ND	ND	ND	ND	ND	0.30	〃	(ND~0.04) (注3)
	佐 陀 宮 内 (注6)	5 月 15 日	ND	ND	ND	ND	0.39	0.39	〃	0.07~1.4
			ND	ND	ND	ND	0.24	0.18	中国電力	
西 浜 佐 陀	5 月 22 日	ND	ND	ND	ND	ND	0.32	島 根 県	(0.08~0.12) (注4)	

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。  
 2. <sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は平成15~22年度及び平成25~26年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。  
 平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。  
 3. 片句地点の<sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は平成20年度より採取ポイントを移動したため、平成20~22年度及び平成25~26年度の値を参考値として記載した。  
 4. 西浜佐陀地点の<sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は平成20年度より測定を開始したため、平成20~22年度及び平成25~26年度の値を参考値として記載した。  
 5. 面密度の表は、濃度の表の値を換算したものである。  
 6. 同一地点で各測定者が採取し、各測定者が前処理を実施し、測定している。

## 海 水

単 位 : 【 mBq/ℓ 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					測 定 者	<sup>137</sup> Cs 平常の変動幅
			<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>137</sup> Cs		
表層水	1号機放水口 (注5)	4月23日	ND	ND	ND	ND	2.2	島根県	0.84~2.7
			ND	ND	ND	ND	2.0	中国電力	
		10月6日	ND	ND	ND	ND	2.0	島根県	
			ND	ND	ND	ND	1.4	中国電力	
	2号機放水口付近	4月22日	ND	ND	ND	ND	2.1	島根県	ND~2.4
		10月15日	ND	ND	ND	ND	2.1	中国電力	
	3号機放水口付近	4月22日	ND	ND	ND	ND	1.8	島根県	(1.1~2.4) (注3)
		10月15日	ND	ND	ND	ND	1.7	中国電力	
	取 水 口	4月23日	ND	ND	ND	ND	1.4	〃	1.3~2.8
		10月6日	ND	ND	ND	ND	1.7	〃	
	1号機放水口沖	5月22日	ND	ND	ND	ND	2.3	島根県	1.4~2.4
		10月15日	ND	ND	ND	ND	2.0	〃	
	2・3号機放水口沖	4月22日	ND	ND	ND	ND	2.2	〃	1.3~2.4
		10月15日	ND	ND	ND	ND	1.8	〃	
	手 結 沖	4月22日	ND	ND	ND	ND	2.0	〃	ND~2.6
		10月14日	ND	ND	ND	ND	1.8	中国電力	

(注) 1. NDは検出下限値未滿を示す。

- <sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は平成15~22年度及び平成25~26年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。
- 3号機放水口付近については、平成21年度より測定を開始したので、平成21~22年度及び平成25~26年度の値を参考値として記載した。
- 天然核種 (<sup>7</sup>Be、<sup>40</sup>K) は、試料調製過程で除去され測定出来ない。
- 同一地点で各測定者が採取し、各測定者が前処理を実施し、測定している。

## 海 底 土

単 位 : 【 Bq/kg(乾物) 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					天 然 核 種		測 定 者	<sup>137</sup> Cs 平常の変動幅
			<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K		
表層底質	1号機放水口沖	4月22日	ND	ND	ND	ND	ND	6.2	130	島根県	ND
	2・3号機放水口沖	4月22日	ND	ND	ND	ND	ND	5.7	96	〃	ND
	手 結 沖	4月22日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	270	〃	ND

(注) 1. NDは検出下限値未滿を示す。

- <sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は平成15~22年度及び平成25~26年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。

## 海産生物(1)

単位:【Bq/kg(生)】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対象核種					天然核種		測定者	<sup>137</sup> Cs 平常の変動幅
				<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K		
かさこ	肉	発電所付近 沿岸	4月23日 6月15日	ND	ND	ND	ND	0.12	ND	97	島根県	0.06~0.15
なまこ	肉	1号機放水口湾付近	1月26日	ND	ND	ND	ND	ND	0.34	22	〃	ND(注3)
		宮崎鼻付近	1月31日	ND	ND	ND	ND	ND	0.31	22	〃	(ND)(注4)
さざえ	肉	1号機放水口湾 付 近	4月21日	ND	ND	ND	ND	ND	0.45	80	〃	ND~0.04 (注5)
			7月5日	ND	ND	ND	ND	ND	1.1	83	〃	
			10月14日	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	77	〃	
			1月26日	ND	ND	ND	ND	ND	0.78	77	〃	
	肉	宮崎鼻 付 近	4月16日	ND	ND	ND	ND	ND	0.74	82	〃	ND~0.04
			7月12日	ND	ND	ND	ND	ND	0.67	86	〃	
			11月6日	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	84	〃	
			1月31日	ND	ND	ND	ND	ND	1.4	87	〃	
	内臓	1号機放水口湾 付 近	4月21日	ND	ND	ND	ND	ND	1.4	59	〃	ND (注5)
			7月5日	ND	ND	ND	ND	ND	4.7	85	〃	
			10月14日	ND	ND	ND	ND	ND	3.7	43	〃	
			1月26日	ND	ND	ND	ND	ND	2.2	45	〃	
内臓		宮崎鼻 付 近	4月16日	ND	ND	ND	ND	ND	2.5	73	〃	ND~0.04
			7月12日	ND	ND	ND	ND	ND	2.5	66	〃	
			11月6日	ND	ND	ND	ND	ND	4.2	52	〃	
			1月31日	ND	ND	ND	ND	ND	5.3	80	〃	
むらさきいがい	むき身	1号機放水口湾 付 近	7月22日	ND	ND	ND	ND	0.04	2.4	86	〃	ND~0.03
				ND	ND	ND	ND	ND	2.0	86	中国電力	
		宮崎鼻 付 近	7月12日	ND	ND	ND	ND	ND	3.2	59	島根県	ND
				ND	ND	ND	ND	ND	3.2	60	中国電力	
		浜田市	7月12日	ND	ND	ND	ND	ND	0.78	42	島根県	ND
		松江美保関町	7月21日	ND	ND	ND	ND	ND	4.2	48	島根県	ND
				ND	ND	ND	ND	ND	4.0	48	中国電力	

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

- <sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は平成15~22年度及び平成25~26年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。
- 1号機放水口湾付近の<sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は、平成15~17年度は宇中湾付近採取試料との混合試料として、平成18~21年度は宮崎鼻付近採取試料との混合試料として測定を行っていたため、平成15~21年度の混合試料を1号機放水口湾付近の値とみなし決定した。
- 宮崎鼻付近の<sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は、平成18年度から1号機放水口湾付近採取試料との混合試料として測定を開始したため、平成18~21年度の混合試料及び平成22年度、平成25~26年度の測定結果から参考値として記載した。
- 1号機放水口湾付近の<sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は、平成15~17年度は宇中湾付近採取試料との混合試料として、平成18年度は宮崎鼻付近採取試料との混合試料として測定を行っていたため、平成15~18年度の混合試料の測定結果を1号機放水口湾付近の値とみなして決定した。

海産生物(2)

単位:【 Bq/kg(生) 】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対象核種						天然核種		測定者	<sup>137</sup> Cs 平常の変動幅
				<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K		
あらめ	仮根を除く	1号機放水 口湾 付近	6月21日	ND	ND	ND	ND		ND	0.85	280	島根県	ND~0.10
			10月14日	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.74	70	〃	
		宮崎鼻 付近	7月4日	ND	ND	ND	ND		0.10	1.1	280	〃	ND~0.12
			12月2日	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	1.5	300	中国電力	
		宮崎鼻 近海 底部 (注4)	6月16日	ND	ND	ND	ND		ND	0.93	370	島根県	ND~0.09
				ND	ND	ND	ND		0.06	ND	400	中国電力	
わかめ	仮根を除く	1号機放水 口湾 付近 (注4)	4月21日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.0	220	島根県	ND
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.59	190	中国電力	
岩のり	全体	1号機放水 口湾 付近	1月17日	ND	ND	ND	ND		ND	4.3	120	島根県	ND
ほんだわら類	仮根を除く	1号機放水 口湾 付近 (注4)	6月21日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.3	310	〃	ND
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.3	350	中国電力	
		宮崎鼻 付近	7月4日	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	2.9	280	島根県	ND~0.07
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.3	270	中国電力	
		輪谷湾	7月4日	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	2.2	270	島根県	ND~0.08
				ND	ND	ND	ND	ND	0.07	2.0	290	中国電力	
		浜田市	7月12日		ND	ND	ND	ND	ND	2.0	280	島根県	(ND) (注3)
		松江市 美保関町	7月21日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.0	320	〃	(ND) (注3)
				ND	ND	ND	ND		ND	1.4	290	中国電力	

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。  
 2. <sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は平成15~22年度及び平成25~26年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。  
 3. 浜田市および松江市美保関町のほんだわら類の<sup>137</sup>Cs「平常の変動幅」は、平成19年度から測定を開始したため、平成19~22年度及び平成25~26年度の値を参考値として記載した。  
 4. 同一地点で採取された試料を分割し、各測定者が前処理を実施し、測定している。

2) トリチウム

単位：【 Bq/l】

試料名	部位	採取地点	採取月日	測定値	測定者	平常の変動幅	
海水	表層水	1号機放水口沖 (注3)	4月22日	ND	島根県	ND	
				ND	中国電力		
			10月15日	ND	島根県		
				ND	中国電力		
		2・3号機放水口沖 (注3)	4月22日	ND	島根県	ND~0.78	
				ND	中国電力		
			10月15日	ND	島根県		
				ND	中国電力		
		手結沖	4月22日	ND	島根県	ND	
				ND	中国電力		
陸水	池水	一矢 (注3)	5月14日	ND	島根県	ND~0.59	
				0.52	中国電力		
	水道原水	着水井	古志浄水場 (注3)	5月14日	0.34	島根県	ND~0.65
					0.43	中国電力	
				11月17日	ND	島根県	
					ND	中国電力	

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

2. 「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。

3. 同一地点で各測定者が採取し、各測定者が前処理を実施し、測定している。



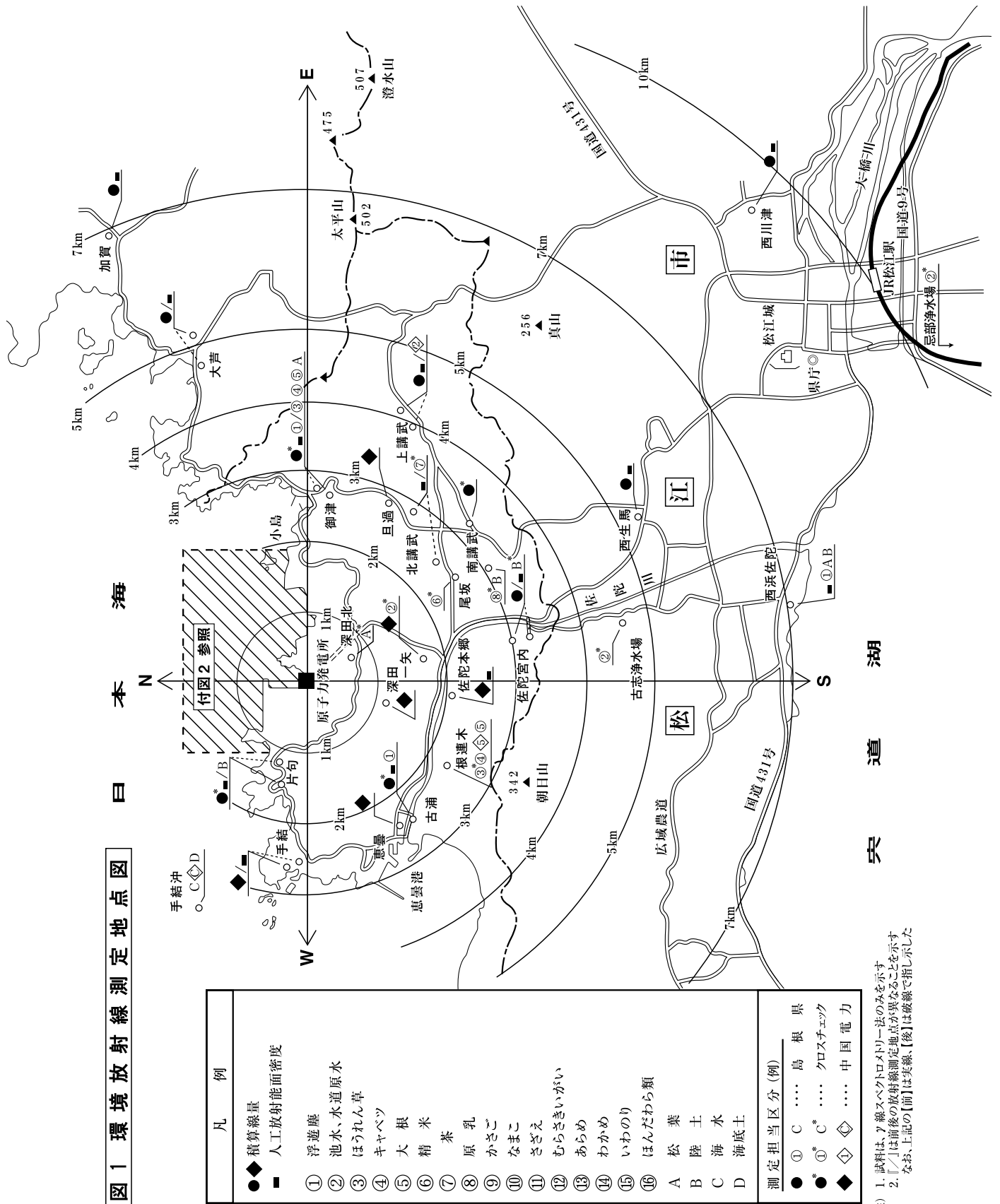
### 3) ストロンチウム 90

試料名	部位	採取地点	採取月日	測定値	単位	平常の変動幅	
松葉	2年葉	御津	4月22日	13	Bq/kg(生)	2.5~12	
ほうれん草	葉	御津	12月8日	0.08		0.04~0.16	
茶	葉	北講武	5月11日	0.28		0.19~1.5	
海水	表層水	1号機放水口沖	4月22日	ND	mBq/ℓ	ND~2.6	
海産生物	さざえ	肉	1号機放水口湾付近	4月21日	ND	Bq/kg(生)	ND (注4)
			宮崎鼻付近	4月16日	ND		ND
	あらめ	仮根を除く	宮崎鼻付近	7月4日	ND		(ND) (注5)
	わかめ	〃	1号機放水口湾付近	4月21日	0.13		ND~0.09
陸土	表層土 (0~5 cm)	佐陀宮内	5月15日	3.0	Bq/kg(乾物)	1.9~4.7	
				0.07	kBq/m <sup>2</sup>	0.06~0.22	

(注) 1. 測定者 島根県

2. NDは検出下限値未満を示す。
3. 「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。
4. 1号機放水口湾付近の「平常の変動幅」は、平成17年度は宇中湾付近採取試料との混合試料として、平成18年度は宮崎鼻付近採取試料との混合試料として測定を行っていたため、平成17~18年度の混合試料の測定結果を1号機放水口湾付近の値とみなして決定した。
5. 宮崎鼻付近のあらめについては、平成22年度から測定を開始したため、平成22~26年度の値を参考値として記載した。

付図1 環境放射線測定地点図

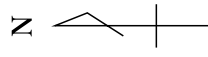


凡 例	
● ◆	積算線量
■	人工放射線面密度
①	浮遊塵
②	池水、水道原水
③	ほうれん草
④	キャベツ
⑤	大根
⑥	精米
⑦	茶
⑧	原乳
⑨	かさご
⑩	なまこ
⑪	さざえ
⑫	むらさきいがい
⑬	あらめ
⑭	わかめ
⑮	いわのり
⑯	ほんだわら類
A	松
B	陸
C	海
D	海底土

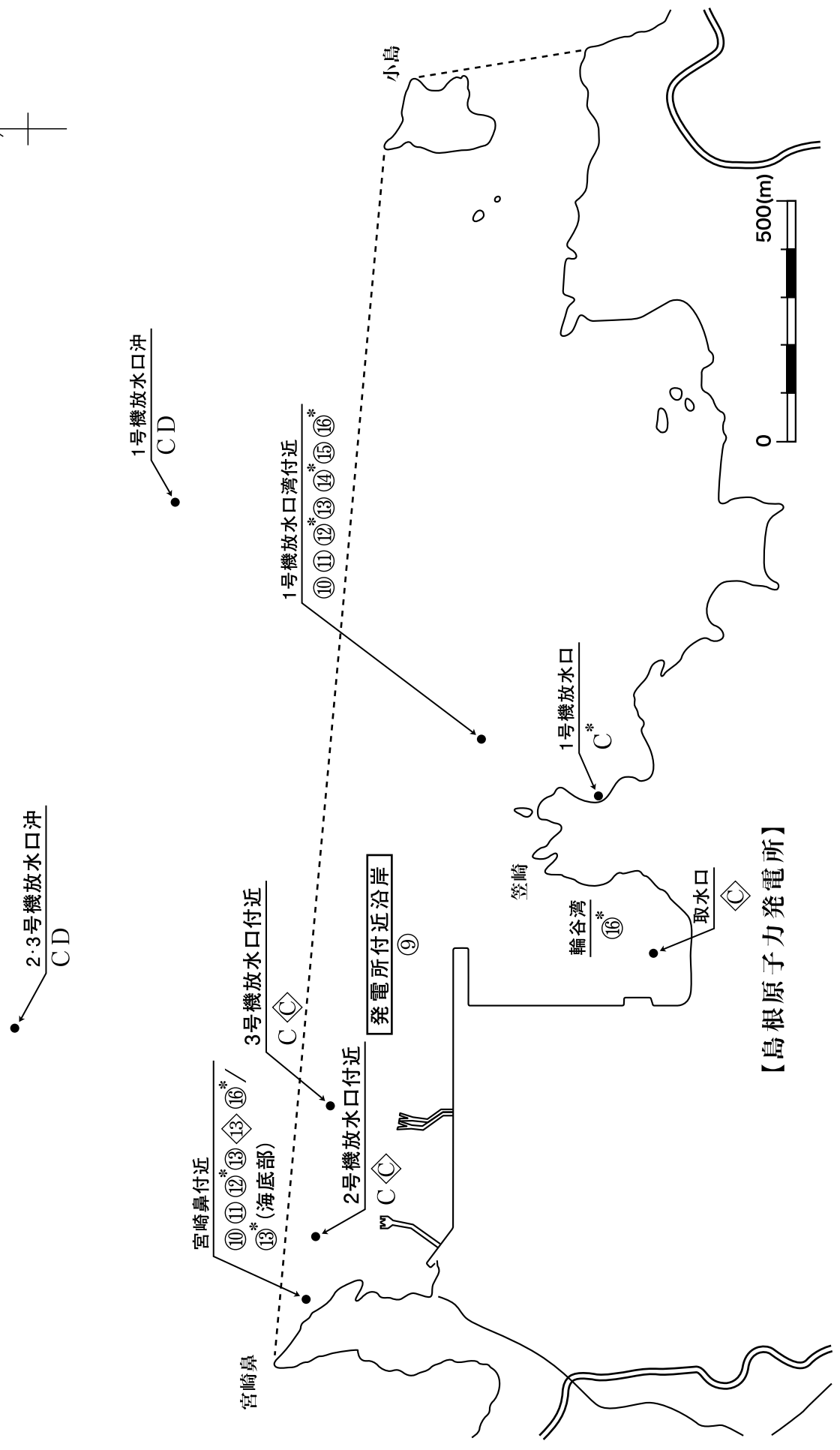
測定担当区分(例)	
●	島根県
○	C
●*	C*
◆	C
◆	C

(注) 1. 試料は、γ線スペクトロメトリ法のみを示す  
 2. 「/」は前後の放射線測定地点が異なることを示す  
 なお、上記の【前】は実線、【後】は破線で指し示した

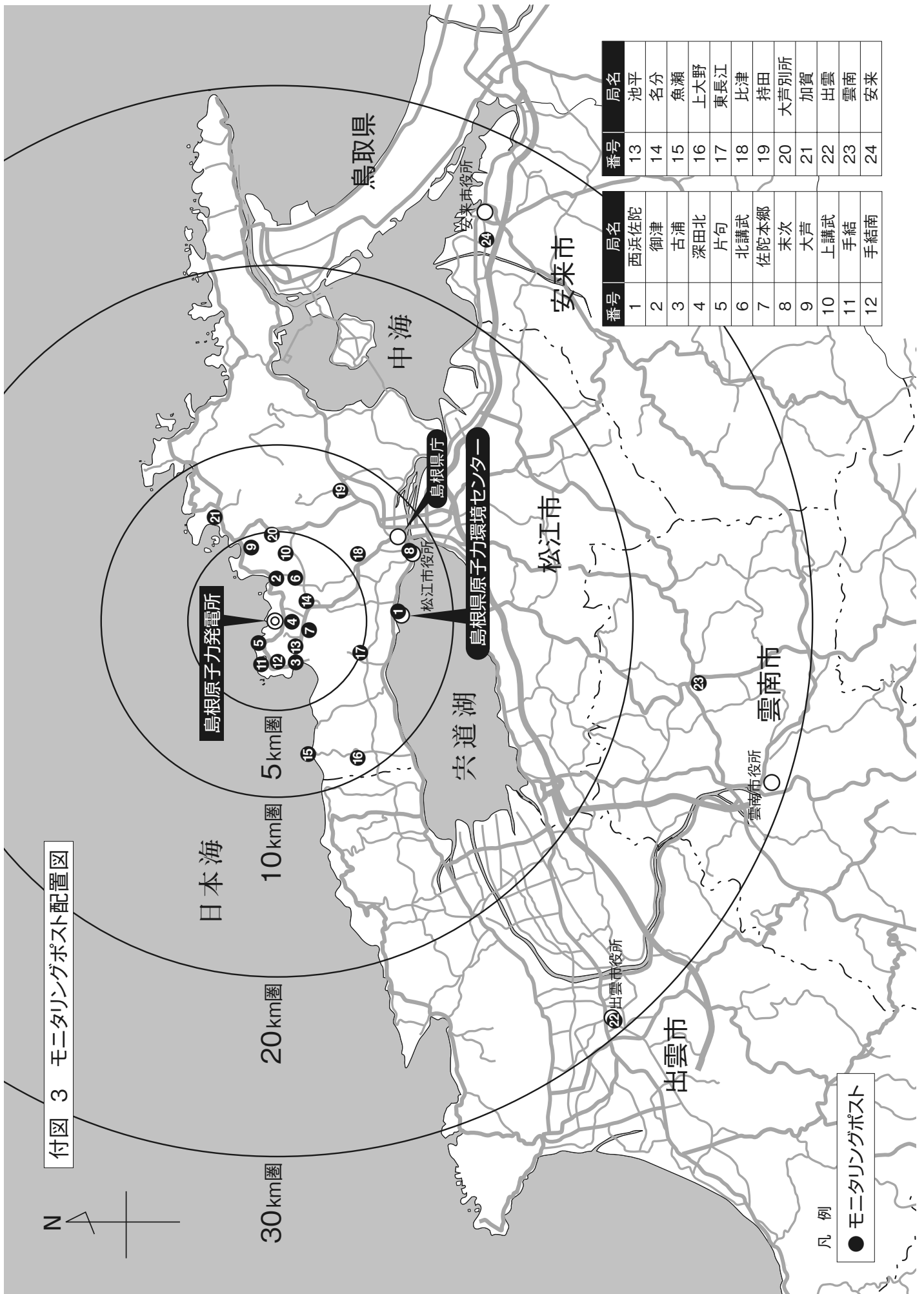
付図 2 環境放射線測定地点(海域拡大図)



- (注) 1. 凡例は、付図1と共通  
 2. 試料は、7線スペクトロメトリ法のみを示す



付図 3 モニタリングポスト配置図



番号	局名	番号	局名
1	西浜佐陀	13	池平
2	御津	14	名分
3	古浦	15	魚瀬
4	深田北	16	上大野
5	片匂	17	東長江
6	北講武	18	比津
7	佐陀本郷	19	持田
8	末次	20	大芦別所
9	大芦	21	加賀
10	上講武	22	出雲
11	手結	23	雲南
12	手結南	24	安来

凡例  
● モニタリングポスト

## II 温排水関係

## 調査内容

平成28年1月～3月の調査内容は次のとおりである。

### 1. 調査機関 島根県、中国電力株式会社

### 2. 調査項目及び測定方法

測定項目	測定点		測定水深	測定方法	測定回数	資料整理	実施者
水温	沖合定線 34点		0～20m 1m間隔 25m 30m～海底 10m間隔	可搬式水温計による測温	年 4回	1. 測定温度表 2. 水温水平分布図 3. 水温鉛直分布図	島根県
	沿岸 定点	放水口沖 (1号)	0～海底 (水深約20m) 1m間隔	可搬式水温計による測温	毎月 3回	測定日の10時データの表	中国電力
		7点	1号機放水口 2号機放水口 3号機放水口 輪谷湾 片 匂 御 津	1m 1m 4m 1m・3m 1m・3m 1m・3m	常設水温計による自動記録	連続	
		格子状定線 89点		0～20m 1m間隔 25m 30m～海底 10m間隔	可搬式水温計による測温	年 4回	1. 測定温度表 2. 水温水平分布図 3. 水温鉛直分布図
水色	沖合定線の測定点 7・9・10・17・18			フォーレルの水色計による観測	年 4回	フォーレルの水色標準液 番号の表	島根県

温排水測定地点は温排水測定定点図のとおり。

### 3. 今期の島根原子力発電所の運転状況

○ 1号機（定格出力：46万kW、放水方式：表層放水）

- ・ 放水量 1月1日～3月4日 22 m<sup>3</sup>/s
- 3月5日～3月11日 1 m<sup>3</sup>/s
- 3月12日～3月31日 22 m<sup>3</sup>/s

・ 発電状況 1月1日～3月31日 第29回施設定期検査のため発電停止  
平成27年4月30日付で運転終了

○ 2号機（定格出力：82万kW、放水方式：水中放水）

- ・ 放水量 1月1日～3月31日 2.4 m<sup>3</sup>/s

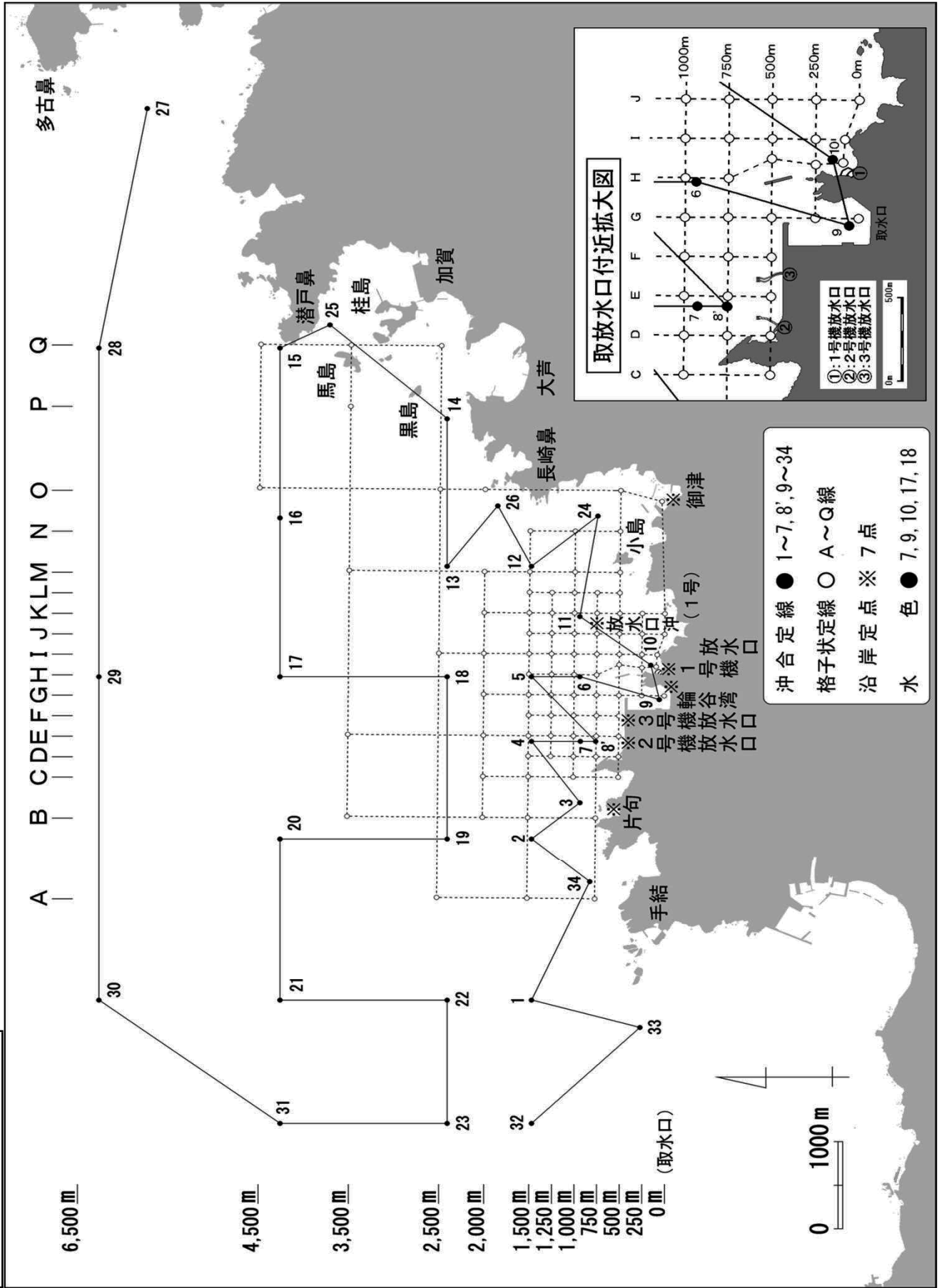
・ 発電状況 1月1日～3月31日 第17回施設定期検査のため発電停止

○ 3号機（建設中）（定格出力：137.3万kW、放水方式：水中放水）

- ・ 放水量 1月1日～3月31日 3 m<sup>3</sup>/s

（燃料装荷前の検査段階で温排水の放出はなし）

温排水測定定点図



沖合定線 ● 1~7, 8, 9~34  
 格子状定線 ○ A~G線  
 沿岸定線 ※ 7点  
 水色 ● 7, 9, 10, 17, 18

#### 4. 評価と調査結果の概要

##### 評価

今期の調査結果について、各々の測定項目ごとに温排水の影響に関する詳細な検討を行ったところ、温排水に起因する特異な状況は認められなかった。

##### 調査結果の概要

今期の島根原子力発電所の稼働状況は1号機が第29回施設定期検査中(平成27年4月30日付で運転終了)、2号機は第17回の施設定期検査中のため停止中、さらに3号機は建設中であるため、全号機で原子炉の稼働に伴う温排水の放水はなかった。

沖合定線調査では調査海域内に基準水温より0.5℃以上1.0℃未満高い観測値が調査水域の南西側を中心に散発的に見られたものの、発電所近傍の水温は基準水温よりむしろ低めであることから、これらは調査対象水域の外側から差し込んできた水塊に由来するもので、温排水に関連する上昇ではないと考えられる。

格子状定線調査においては、調査中海象悪化等により全89点のうち20点(距岸2,000mより沖)が欠測となり、計画に沿った手法による評価が困難となった。しかしながら、本調査で得られた沿岸付近の水温データから発電所放水口近傍から距岸1,500m線までの範囲の温度勾配はほぼ一様であり、温排水に起因する水温上昇は見られなかった。

##### (1) 沖合定線 [測定年月日；平成28年3月4日]

○ 測定日の島根原子力発電所の運転状況 (10時)

	1号機	2号機	3号機(建設中)
発電出力(万kW)	0	0	0
放水量(m <sup>3</sup> /s)	22	2.4	3
放水口水温(℃)	12.6	13.5	13.1
温度上昇(℃)	0.1	1	0.6

○ 測定日の気象・海象 (8時10分 ~ 12時50分)

天候	晴れ
気温(℃)	10.4 ~ 15.2
風向	東北東 ~ 北北西
風速(m/s)	0.1 ~ 5.1
風浪	鏡のようになめらかである
うねり	うねりがない ~ 短くまたは中位の弱いうねり(波高2m未満)

a. 水温測定結果 8時10分 ~ 12時50分

最高水温は 13.3℃ (定点23 の 0m 他4点)

最低水温は 10.9℃ (定点33 の 0m )

基準水温は	水深層	基準水温	水深層	基準水温	水深層	基準水温
	0 m	12.8℃	10 m	12.8℃	20 m	12.7℃
	1 m	12.8℃	11 m	12.7℃	25 m	12.7℃
	2 m	12.8℃	12 m	12.7℃	30 m	12.7℃
	3 m	12.7℃	13 m	12.7℃	40 m	12.7℃
	4 m	12.8℃	14 m	12.7℃	50 m	12.7℃
	5 m	12.8℃	15 m	12.7℃	60 m	12.7℃
	6 m	12.8℃	16 m	12.7℃	70 m	12.7℃
	7 m	12.8℃	17 m	12.7℃	80 m	-
	8 m	12.8℃	18 m	12.7℃		
	9 m	12.8℃	19 m	12.7℃		

(基準水温とは定点15、16、17、20、21の水深別の平均値)

観測された最高水温(13.3℃)は、過去10ヶ年の第4四半期(以下「過去の」という)の測定範囲(12.7~22.1℃)内であったが、最低水温(10.9℃)は過去の測定範囲(11.3~13.6℃)外であった。

[資料1-1「島根原子力発電所 沖合定線の水温」P.40参照]



b. 出現水温の観測状況（水温水平分布、水温鉛直分布）

【水温水平分布】

- 水温が基準水温より 1℃以上高かった定点  
観測されなかった
- 水温が基準水温より0.5℃以上1℃未満高かった定点  
定点23（0～3m）、定点28（0m）、定点32（0m,60m）で観測された。

〔資料1－2「島根原子力発電所 沖合定線の水温水平分布図」P.41参照〕

【水温鉛直分布】

- 水温が基準水温より 1℃以上高かった水深層の水温範囲  
観測されなかった
- 水温が基準水温より0.5℃以上高かった水深層の水温範囲  
0m（定点23,28,32）、1m（定点23）、2m（定点23）、3m（定点32）、60m（定点32）で  
測された。

〔資料1－3「島根原子力発電所 沖合定線の水温鉛直分布図」P.43参照〕

【過去の出現範囲との比較】

今年度の第4半期の沖合定線調査で観測された基準水温より0.5℃以上高い定点のうち、定点の0m層は過去の出現範囲内であったが、定点23の0～3m層と定点28の0m層、および定点32の層と60m層は過去の出現範囲外であった。

〔資料1－4「基準水温より水温が高かった点の過去の出現範囲」P.44参照〕

(2) 格子状定線 [測定年月日；平成28年3月23日]

○測定日の島根原子力発電所の運転状況 (10時)

	1号機	2号機	3号機(建設中)
発電出力 (万 kW)	-	0	0
放水量 (m <sup>3</sup> /s)	22	2.4	3
放水口水温 (°C)	13.5	14.1	14.1
温度上昇 (°C)	0.0	0.6	0.6

(2,3号機の放水量は補機冷却系の運転によるもの)

○測定日の気象・海象

	第1回 (10時53分) ※	第2回 ※
天 候	曇	-
気温 (°C)	12.1	-
風 向	北東	-
風速 (m/s)	5.5	-
風 浪	やや波がある	-

※ 風浪が悪化したことから、途中段階で測定を中止した。(2回目の測定は全数中止)

a. 水温測定結果

第1回 10時30分～12時5分

最高水温は 13.7°C (定線F・距離1500m・0m層, 他79点)

最低水温は 13.4°C (定線Q・距離2500m・0m層, 他27点)

[資料2-1「島根原子力発電所 格子状定線の水温」(第1回) P.45～P.46 参照]

第2回

風浪が悪化したため測定を中止。

[資料2-1「島根原子力発電所 格子状定線の水温」(第2回) P.47～P.48 参照]

b. 温排水の拡散状況 (水温水平分布、水温鉛直分布)

基準水温が測定できなかったため、1回目、2回目ともに図示せず。

[資料2-2「島根原子力発電所 格子状定線の水温水平分布図」 P.49～P.50 参照]

[資料2-3「島根原子力発電所 格子状定線の水温鉛直分布図」 P.51～P.52 参照]

《補足》

調査中海象悪化等により、計画測定点89点のうち20点が欠測〔漁具による欠測3点、風浪のため欠測17点(基準水温測定点を含む。)〕となったことから、基準水温との偏差を図示しての水温上昇域の分布状況評価(水温水平分布図、水温鉛直分布図による評価)ができないため、距岸1,500mまでの水温測定結果を水平方向(東西方向、南北方向)および鉛直方向(水深層)別にグラフ化して評価を行った。

放水口付近から距岸1,500m線までの範囲の温度勾配はいずれの方向においてもほぼ一様(最高水温；13.7°C、最低水温；13.4°C)な状況であり、発電所からの温排水に起因する水温上昇は見られなかった。

[参考資料 6. 格子状定線測定温度分布図 (H28.3.23実施) P.74～P.77 参照]

(3) 沿岸定点 [測定年月日；平成28年1月1日～3月31日]

a. 水温測定結果 (10時データ)

単位：℃

	1月		2月		3月	
	最高	最低	最高	最低	最高	最低
放水口沖 (1号)	15.5 (13.8~17.2)	14.2 (12.5~15.2)	13.6 (12.3~16.9)	12.9 (10.5~13.8)	13.4 (12.2~17.2)	12.7 (11.5~15.2)
1号機放水口	15.6 (14.2~25.5)	13.2 (12.2~23.4)	13.7 (13.0~23.7)	12.5 (10.4~23.0)	13.7 (13.1~24.6)	12.2 (10.8~23.1)
2号機放水口	16.1 (14.9~22.9)	13.6 (12.9~20.9)	14.7 (13.5~21.1)	13.1 (11.0~20.6)	14.7 (13.8~21.4)	13.3 (11.5~20.4)
3号機放水口	16.0 (16.4)	13.6 (13.5)	14.0 (14.0)	13.0 (12.2)	14.3 (13.9)	12.8 (12.5)
輪谷湾	15.5 (14.0~16.3)	13.1 (12.0~14.3)	13.7 (12.5~14.6)	12.4 (10.4~13.9)	13.8 (12.8~14.9)	12.1 (10.8~13.7)
片 旬	※ 15.4 (13.4~15.8)	※ 13.1 (11.6~13.7)	13.6 (11.9~14.0)	12.3 (10.2~13.5)	13.7 (12.5~14.3)	12.3 (10.8~13.2)
御 津	14.8 (13.0~15.1)	11.4 (10.1~12.9)	13.6 (11.9~14.0)	11.2 (9.2~11.8)	14.1 (12.7~14.9)	10.7 (9.6~12.4)

※ 1月19日については、荒天による停電に伴い欠測

- 注) 1. 放水口沖 (1号) の水温は、月3回 (上旬、中旬、下旬) の測定値  
 2. 3号機放水口を除く表中 ( ) 内は、過去10ヶ年の同月水温の観測範囲 (最低～最高)  
 3. 3号機放水口の表中 ( ) 内は、前年度の同月水温

[資料3-1 「島根原子力発電所 沿岸定点の水温」 P. 53～P. 55参照]

[資料3-2 「島根原子力発電所 沿岸定点の水温推移」 P. 56参照]

過去10ヶ年の同月水温の観測範囲内 (最低～最高) と比較して、全ての観測定点が過去10ヶ年の同月水温の観測範囲内 (最低～最高) に収まるものであった。

沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果は資料3-3 「島根原子力発電所沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果」 (P. 57参照) のとおり。

b. 取水－放水温度差 (温度上昇)

単位：℃

	1月	2月	3月
1号機	0.0~0.1	0.0~0.1	0.0~0.4
2号機	0.0~1.5	0.0~1.7	0.0~1.8
3号機(建設中)	0.0~0.7	0.3~0.7	0.0~0.8

注) 1号機放水量は 1月1日～3月4日 22 m<sup>3</sup>/s  
 3月5日～3月11日 1 m<sup>3</sup>/s  
 3月12日～3月31日 22 m<sup>3</sup>/s

2号機放水量は 1月1日～3月31日 2.4 m<sup>3</sup>/s

3号機放水量は 1月1日～3月31日 3 m<sup>3</sup>/s

(燃料装荷前の検査段階で温排水の放出はなし)

(4) 水色〔測定年月日；平成 28年3月4日〕

定点	7	9 (取水口前)	10 (1号機放水口前)	17	18
時刻	8時52分	9時03分	9時08分	10時58分	10時10分
水色	3	4	4	3	3

観測された水色は過去10ヶ年の第3四半期の観測範囲（水色2～6）内であった。

またこれは、内湾等を除く日本近海の水色分布の範囲（水色2～6）内である。（出典 海洋の事典東京堂出版）

水色について：測定に使用しているフォーレルの水色計では水色は1から11まであり、

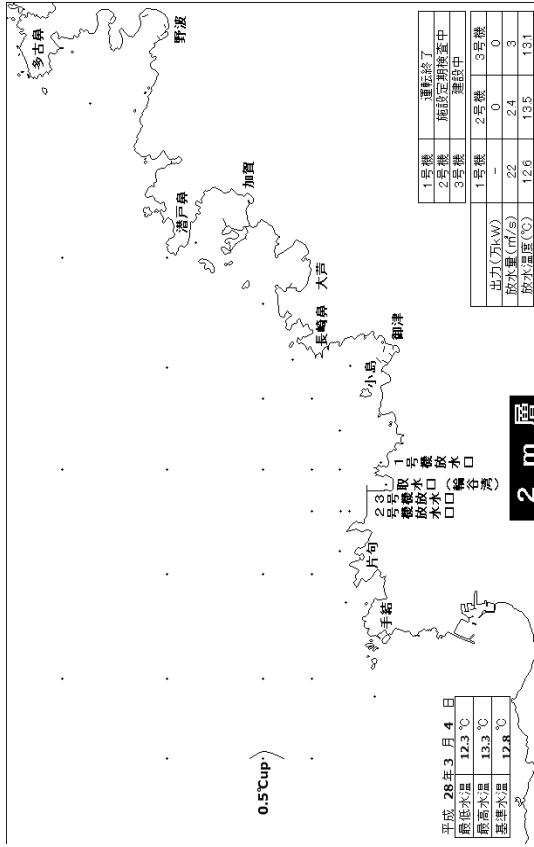
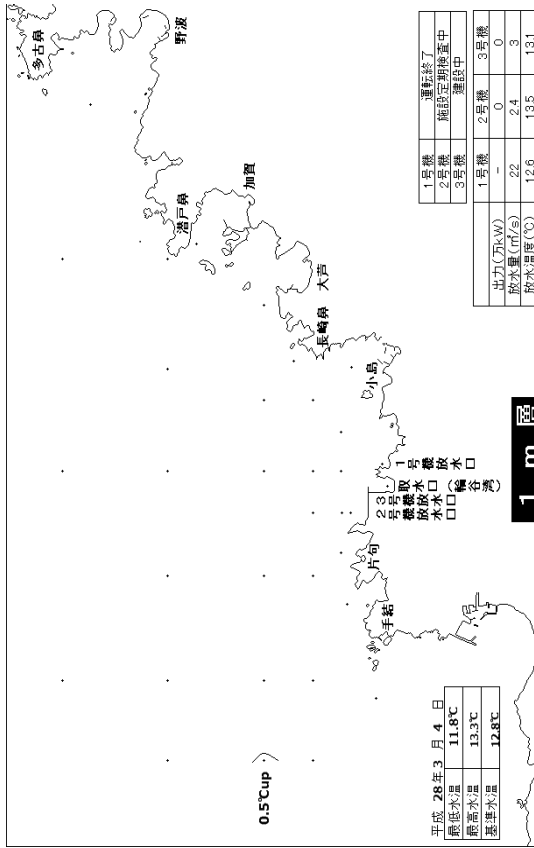
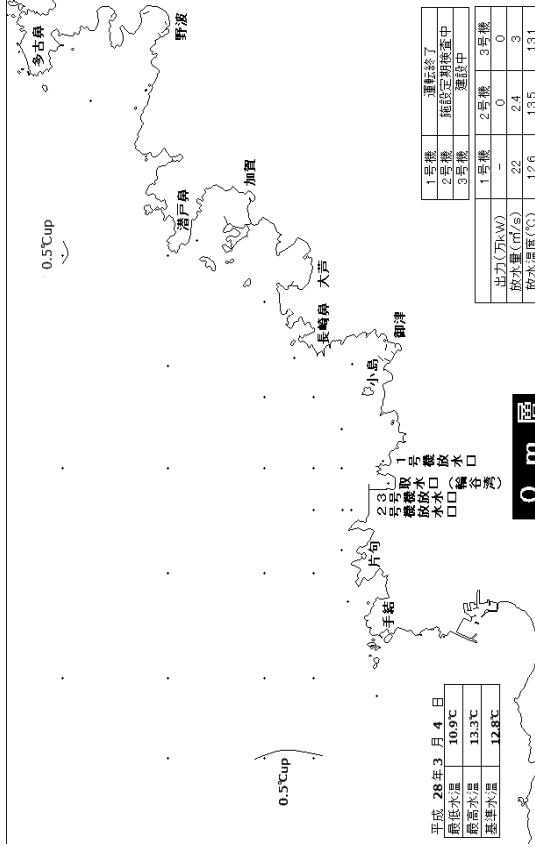
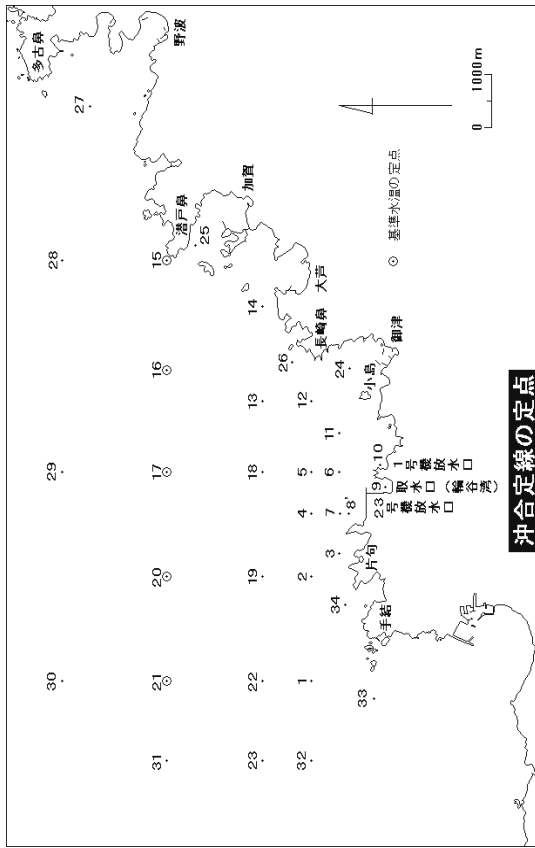
1は澄んだ海を表す青色で数字が大きくなるほど濁った海水を表す黄色がかった色になります。

島根原子力発電所 沖合定線の水温

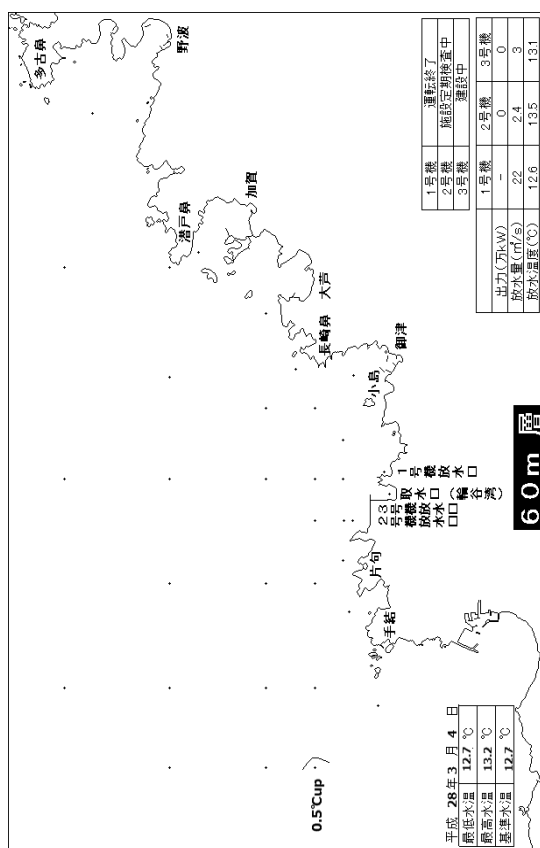
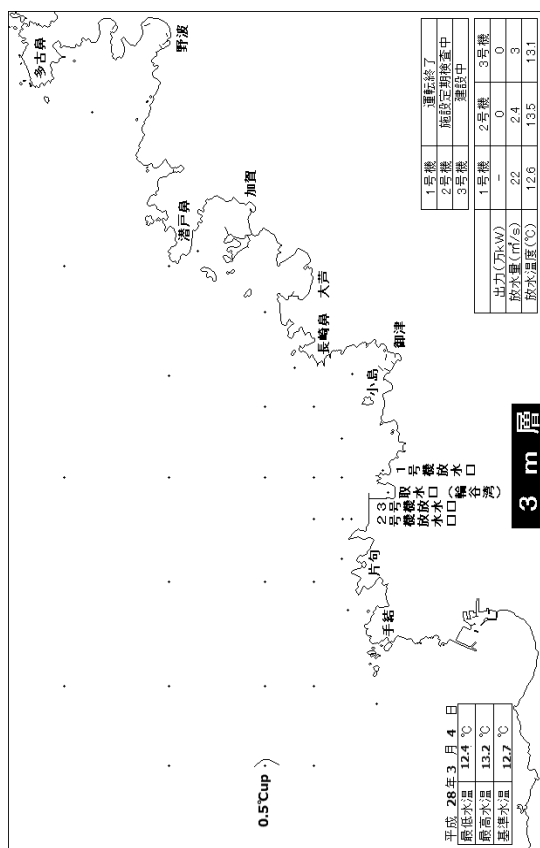
平成 28年 3月 4日 8時10分 ~ 12時50分

1号機	2号機	3号機
出力(万kW)	0	0
放水量(m <sup>3</sup> /s)	22.0	2.4
3号機	0	3.0

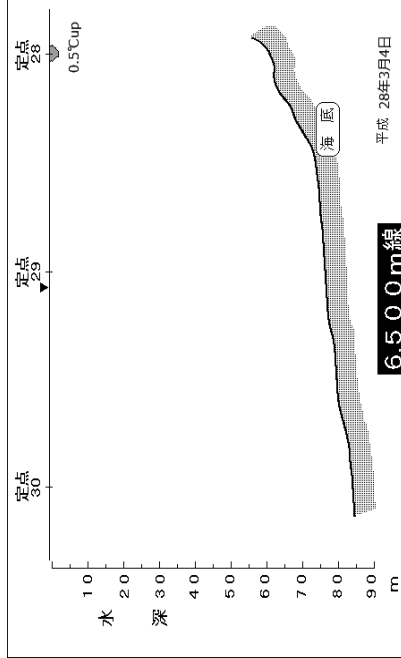
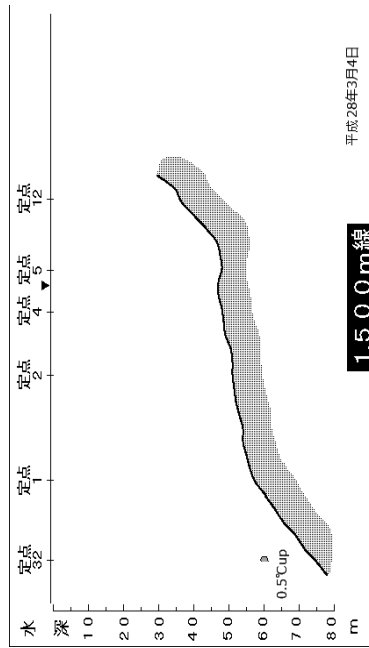
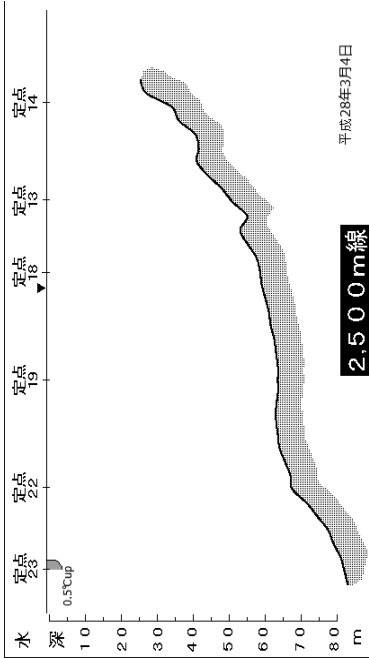
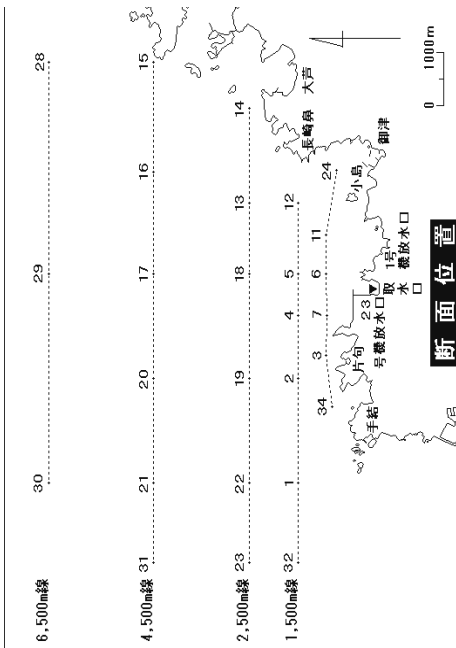
測定点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34			
時刻	8:18	8:39	8:33	8:45	9:18	9:15	8:52	8:56	9:03	9:08	9:23	9:35	9:54	9:45	11:14	11:06	10:58	10:10	10:18	10:47	10:40	10:30	12:43	9:30	11:20	9:40	11:30	12:00	12:12	12:23	12:35	12:50	8:10	8:28			
水深(m)	60.0	54.0	38.0	50.0	48.0	40.0	38.0	34.0	18.0	7.0	37.0	36.7	50.0	32.0	27.0	63.0	73.0	59.0	63.0	76.0	82.0	67.0	82.0	20.0	22.5	29.0	30.0	63.0	76.0	85.0	86.0	74.0	39.0	40.0			
天候	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	BC	
気温(°C)	11.4	12.6	12.1	12.6	12.1	11.8	12.3	12.2	11.7	11.7	11.9	12.2	12.9	12.6	14.0	13.1	12.9	13.1	13.7	13.4	13.4	13.1	14.9	12.3	14.4	12.3	13.6	14.3	14.8	15.1	14.5	15.2	10.4	12.1			
風向	SE	S	SSE	ENE	S	S	SSE	S	SSE	S	S	S	NNW	S	SSW	SSW	S	SSW	S	SE	S	SSW	SW	SSE	NW	S	NNW	SW	SW	SW	SW	SW	ESE	SE			
風速(m/s)	3.0	3.1	3.6	0.1	2.4	2.0	3.0	5.1	4.3	3.0	3.7	2.4	1.4	0.1	3.0	3.4	3.4	1.7	2.4	4.0	3.3	3.3	2.4	3.6	1.4	1.7	1.0	2.0	2.4	1.0	1.7	2.6	3.4	3.0			
透明度(m)	15	13	15	14	13	13	13	14	13	海底	19	14	19	17	12	15	16	19	14	17	13	14	14	13	13	13	13	14	15	17	15	14	16	13			
水色																		3	3																		
風浪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
うねり	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
0m	12.7	12.8	12.7	12.6	12.6	12.7	12.8	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.8	12.7	12.8	12.7	12.8	13.0	12.9	13.0	12.9	13.3	12.7	11.9	12.7	11.9	12.7	13.1	13.3	13.1	13.2	13.2	13.3	13.3	12.6	12.8
1m	12.7	12.6	12.7	12.6	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.8	12.8	12.8	12.7	12.9	12.9	12.9	13.3	12.7	11.8	12.7	11.8	12.7	12.9	12.8	12.9	13.2	13.2	13.0	12.9	12.6	12.8
2m	12.7	12.6	12.7	12.6	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.8	12.8	12.8	12.8	12.7	12.9	12.8	12.9	13.3	12.7	13.2	12.7	13.2	12.7	12.8	12.8	12.9	13.0	13.1	12.9	12.9	12.6	12.8
3m	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.8	12.8	12.8	12.7	12.9	12.8	12.9	13.2	12.7	12.4	12.7	12.4	12.7	12.8	12.7	12.9	13.1	13.0	12.9	12.6	12.7	
4m	12.7	12.7	12.7	12.6	12.6	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.1	13.0	12.9	12.7	12.8	
5m	12.7	12.7	12.7	12.6	12.6	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	12.9	12.7	12.8	
6m	13.0	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	12.9	12.6	12.8	
7m	13.0	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.0	12.9	12.6	12.8
8m	13.0	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.0	12.9	12.6	12.8
9m	13.0	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.0	12.9	12.6	12.8
10m	13.0	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.0	12.9	12.6	12.8
11m	13.0	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.1	12.9	12.7	12.8
12m	13.0	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.1	12.9	12.7	12.8
13m	13.0	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.1	12.9	12.7	12.8
14m	13.0	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.1	12.9	12.7	12.8
15m	13.0	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.1	12.9	12.7	12.8
16m	13.1	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.1	12.9	12.7	12.8
17m	13.1	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.1	12.9	12.7	12.8
18m	13.1	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.1	12.9	12.7	12.8
19m	13.1	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.1	12.9	12.7	12.8
20m	13.1	12.7	12.7	12.8	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.1	12.9	12.7	12.8
25m	13.1	12.7	12.8	12.8	12.7	12.8	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.1	12.9	12.7	12.8
30m	13.1	12.8	12.8	12.7	12.7	12.8	12.7	12.7	12.7	12.7	12.8	12.7	12.6	12.7	12.6	12.7	12.7	12.7	12.9	12.8	13.0	12.9	13.1	12.7	12.4	12.4	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.1	12.9	12.7	12.8
40m																																					



島根原子力発電所 沖合定線の水温水分布図 (基準水温との温度差) 平成28年3月4日



島根原子力発電所 沖合定線の水温水分布図 (基準水温との温度差) 平成28年3月4日



島根原子力発電所 沖合定線の水溫鉛直分布図 (基準水溫との温度差) 平成27年8月20日



基準水温より水温が高かった定点の過去の出現範囲(17~26年度の第4四半期)

区分	水深	定 点 番 号																																		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
1 ℃ 以上	0				*		*	*		*	*	*												*												
	1				*	*		*	*		*	*												*												
	2							*	*		*																									
	3							*																												
	4																																			
	5																																			
	6																																			
	7																																			
	8																																			
	9																																			
	10																																			
	11																																			
	12																																			
	13																																			
	14																																			
	15																																			
	16																																			
	17																																			
	18																																			
19																																				
20																																				
25																																				
30																																				
40																																				
50																																				
60																																				
70																																				
80																																				
0 ・ 5 ℃ 以上 1 ℃ 未 満	0				*	*	*	*	*		*	*	*						*												*		*			
	1					*	*	*	*		*	*	*	*					*	*											*		*			
	2				*	*		*	*		*					*			*												*		*			
	3				*			*	*		*								*												*					
	4							*	*		*					*			*												*					
	5							*	*		*																				*					
	6							*	*																						*					
	7							*	*																						*					
	8							*	*																						*					
	9							*																							*					
	10							*																							*					
	11							*																							*					
	12							*																							*					
	13							*																							*					
	14							*																							*					
	15							*																							*					
	16																														*					
	17																														*					
	18																														*					
19																																				
20																															*					
25																																				
30																																				
40																																				
50																																				
60																																				
70																																				
80																																				








定線	距離 (m)	開始時刻	終了時刻	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	25	30	40	50	60	70	海底上1m								
I線	0																																						
	250																																						
	500																																						
	750																																						
	1000																																						
J線	1250																																						
	1500																																						
	2000																																						
	2500																																						
	0																																						
K線	250																																						
	500																																						
	750																																						
	1000																																						
	1250																																						
L線	1500																																						
	2000																																						
	500																																						
	750																																						
	1000																																						
M線	1500																																						
	2000																																						
	3500																																						
	500																																						
	1000																																						
N線	1500																																						
	0																																						
	500																																						
O線	2000																																						
	2500																																						
	4500																																						
P線	3500																																						
	2500																																						
Q線	3500																																						
	4500																																						

風浪のため欠測（測定中止）

 : 水温の最高  
 : 水温の最低

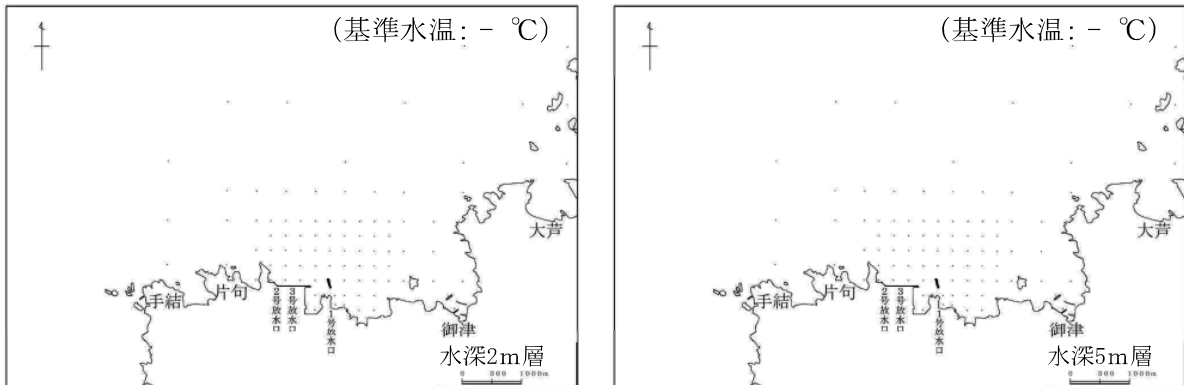
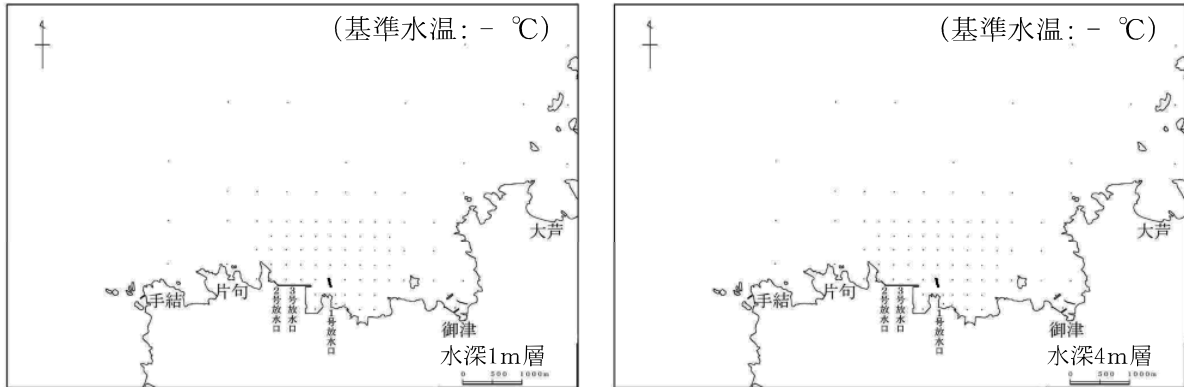
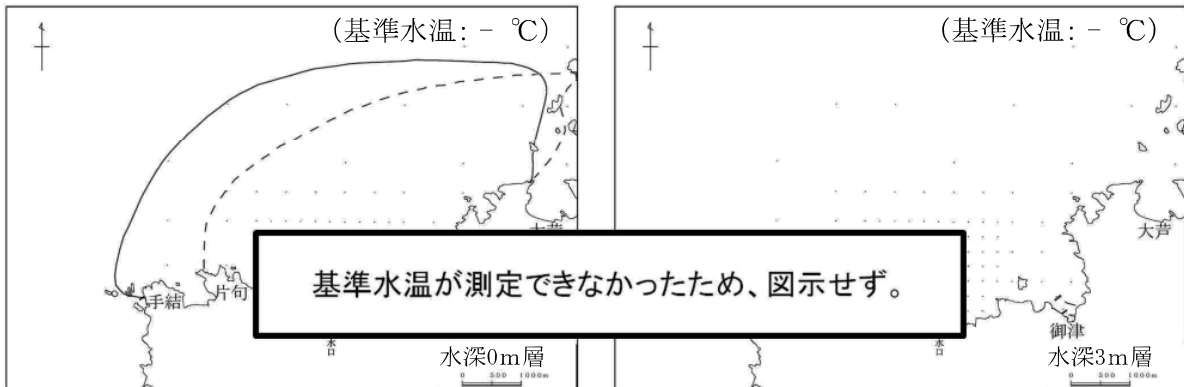
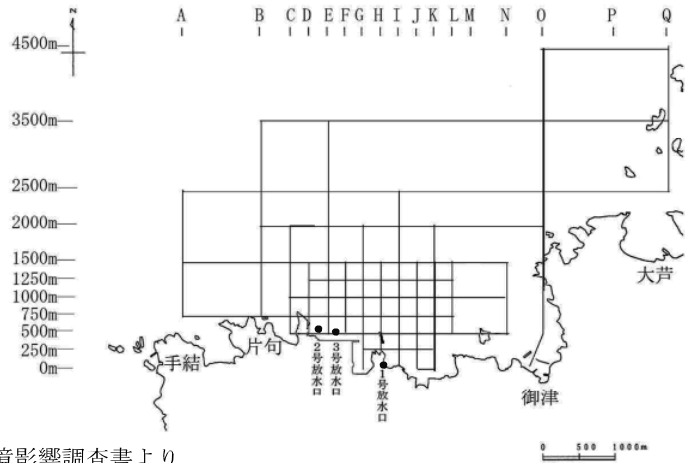
島根原子力発電所 格子状定線の水温水水平分布図 (基準水温との温度差)

平成28年3月23日 第1回  
10時30分～12時05分

出力 (万kW)	1号機	-*
	2号機	0
	3号機	0
放水量 (m <sup>3</sup> /s)	1号機	22
	2号機	2.4
	3号機	3
天候		曇
気温	(°C)	12.1
風向		北東
風速	(m/s)	5.5
風浪		3

※平成27年4月30日付で運転終了  
[基準水温]  
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、  
P3500の6点の平均値  
[1°C上昇域予測包絡範囲の凡例]

—— 島根原子力発電所 2号機修正環境影響調査書より  
- - - 島根原子力発電所 3号機環境影響評価書より



- 基準水温より1°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より2°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より3°C以上高い水温上昇域

島根原子力発電所 格子状定線の水温水平分布図（基準水温との温度差）

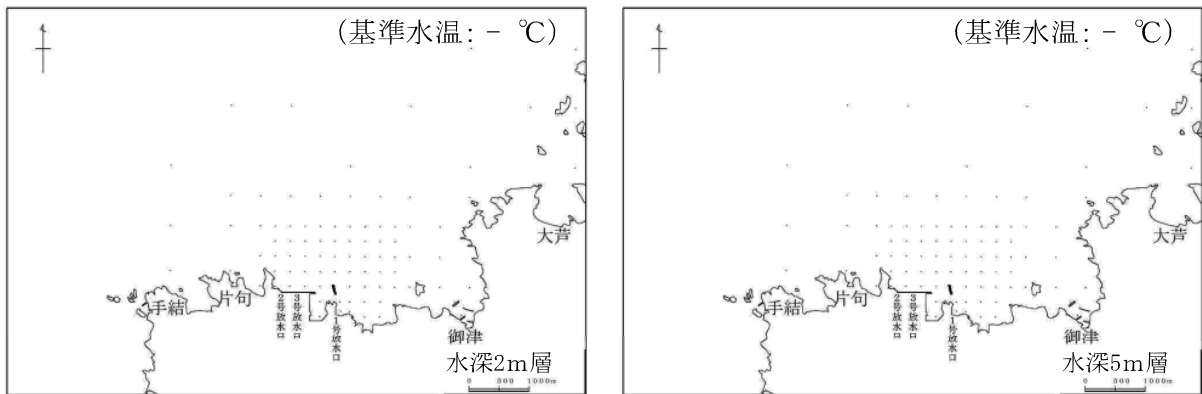
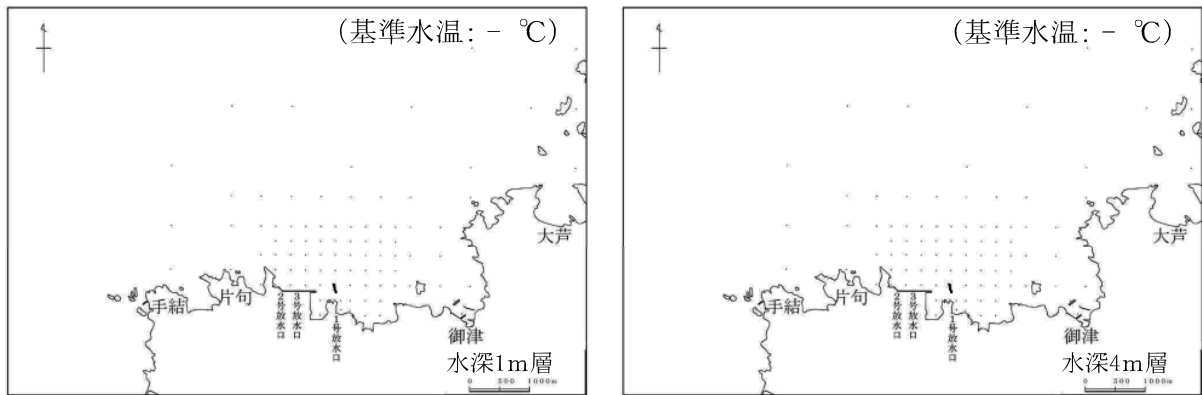
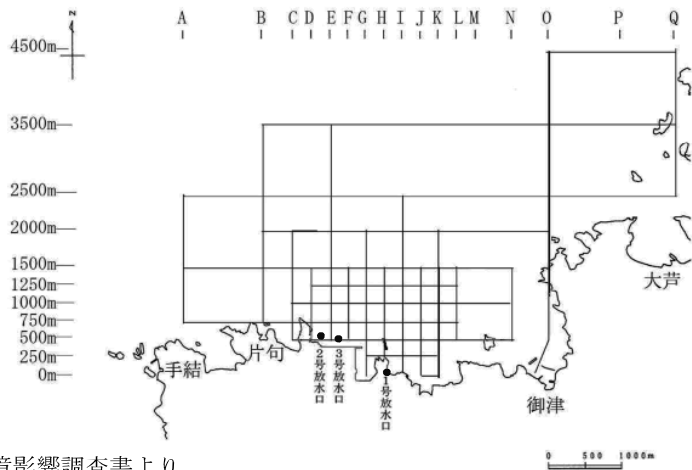
平成28年3月23日 第2回  
一時一分～一時一分

出力 (万kW)	1号機	-*
	2号機	-
放水量 (m <sup>3</sup> /s)	1号機	-
	2号機	-
	3号機	-
天候		-
気温 (°C)		-
風向		-
風速 (m/s)		-
風浪		-

※平成27年4月30日付で運転終了  
[基準水温]  
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、  
P3500の6点の平均値  
[1°C上昇域予測包絡範囲の凡例]

—— 島根原子力発電所 2号機修正環境影響調査書より

- - - - 島根原子力発電所 3号機環境影響評価書より



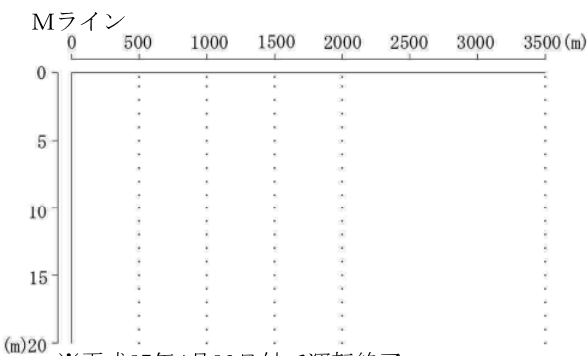
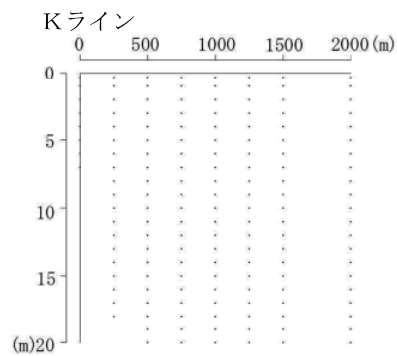
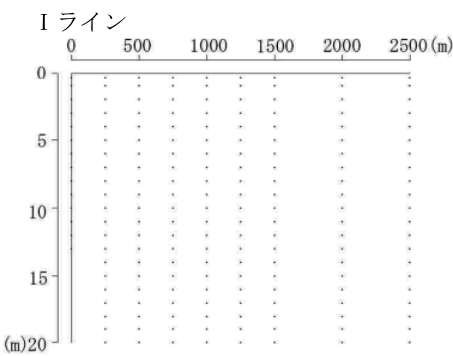
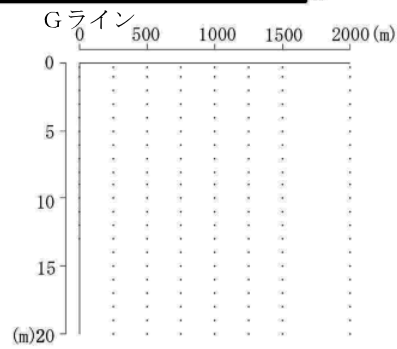
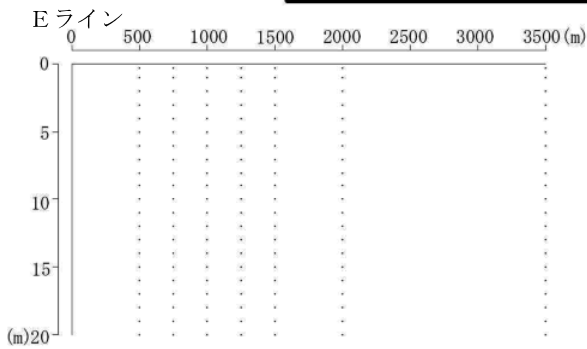
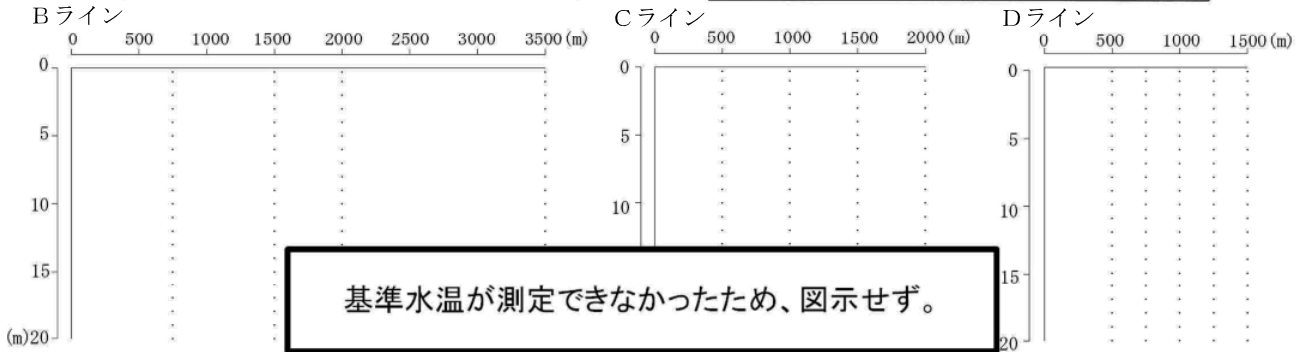
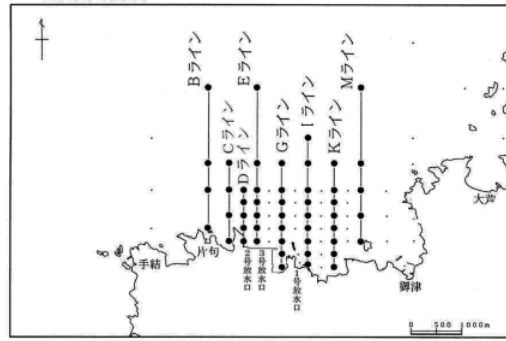
- 基準水温より1°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より2°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より3°C以上高い水温上昇域

島根原子力発電所 格子状定線の水溫鉛直分布図 (基準水溫との温度差)

平成28年3月23日 第1回  
10時30分～12時05分

出力 (万kW)	1号機	—*
	2号機	0
	3号機	0
放水量 (m <sup>3</sup> /s)	1号機	22
	2号機	2.4
	3号機	3
天候		曇
気温	(°C)	12.1
風向		北東
風速	(m/s)	5.5
風浪		3

断面位置見取図



- 基準水溫より1°C以上高い水溫上昇域
- 基準水溫より2°C以上高い水溫上昇域
- 基準水溫より3°C以上高い水溫上昇域

水深	基準水溫(°C)
0m層	—
1m層	—
2m層	—
3m層	—
4m層	—
5m層	—

※平成27年4月30日付で運転終了  
[基準水溫]  
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、P3500の6点の平均値

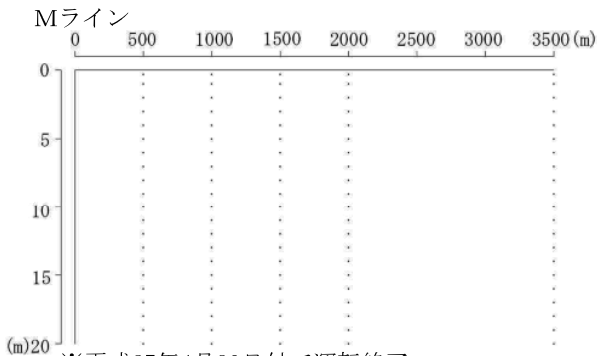
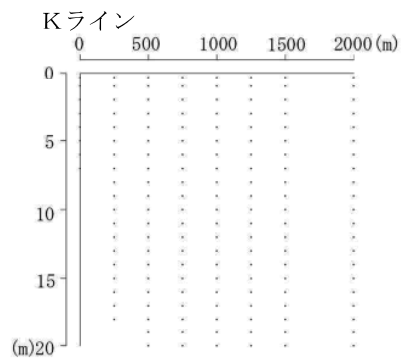
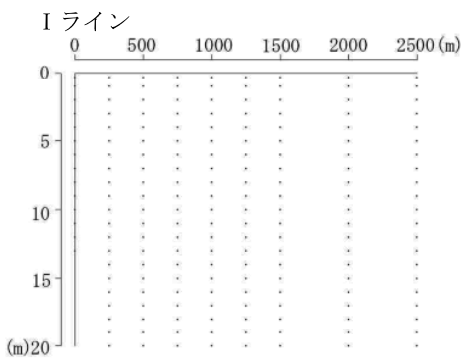
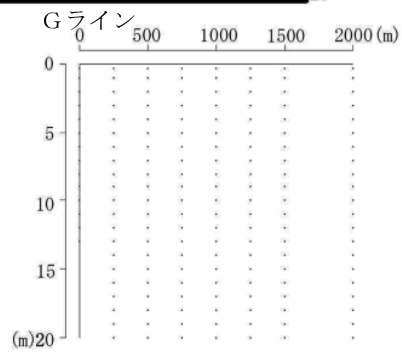
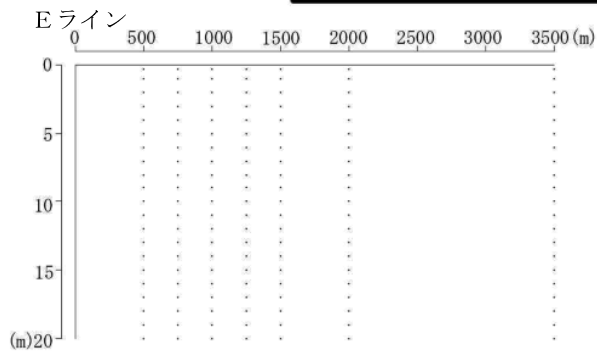
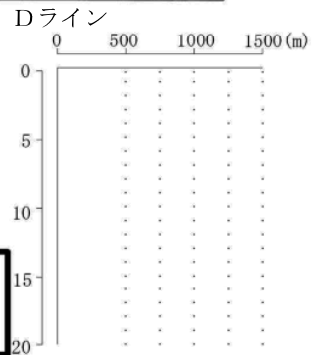
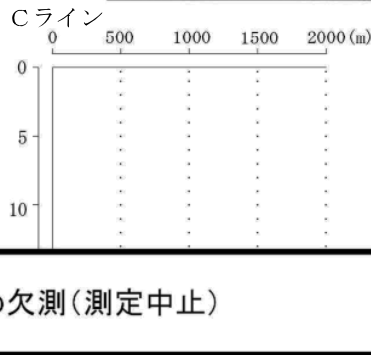
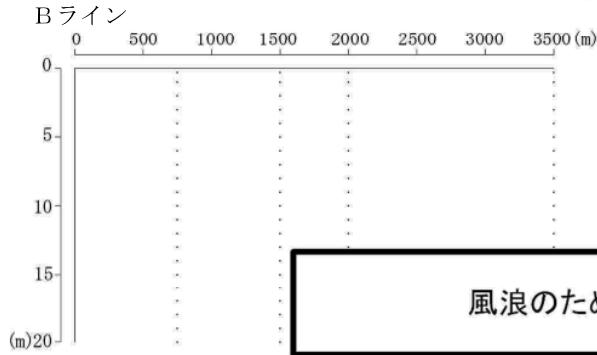
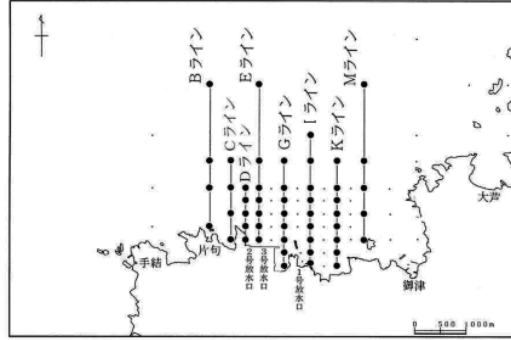


島根原子力発電所 格子状定線の水温鉛直分布図（基準水温との温度差）

平成28年3月23日 第2回  
一時一分～一時一分

出力 (万kW)	1号機	—*
	2号機	—
	3号機	—
放水量 (m <sup>3</sup> /s)	1号機	—
	2号機	—
	3号機	—
天候		—
気温	(°C)	—
風向		—
風速	(m/s)	—
風浪		—

断面位置見取図



- 基準水温より1°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より2°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より3°C以上高い水温上昇域

水深	基準水温(°C)
0m層	—
1m層	—
2m層	—
3m層	—
4m層	—
5m層	—

※平成27年4月30日付で運転終了  
[基準水温]  
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、P3500の6点の平均値

# 島根原子力発電所 沿岸定点の水溫 (平成28年1月)

観測時刻 10 時

(単位: °C)

場 所	日 深	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	水深別 平均	月 間		
																																		最高	最低	
1号機放水口	1m	15.5	15.6	15.5	15.5	15.3	15.2	15.2	15.1	14.8	14.8	14.7	14.5	14.8	14.7	14.7	14.7	14.7	14.8	14.2	14.1	14.5	14.5	14.4	13.4	13.2	13.2	13.6	14.0	14.1	13.9	13.8	14.5	15.6	13.2	
	2号機放水口	1m	15.5	15.8	16.0	16.1	16.0	15.8	15.7	15.5	15.1	15.2	15.0	15.1	15.4	15.6	15.2	15.1	15.5	15.6	15.3	15.1	15.3	15.6	15.5	14.8	14.3	14.2	13.6	13.8	14.6	14.9	14.6	15.2	16.1	13.6
	3号機放水口	4m	15.9	16.0	15.9	15.8	15.7	15.6	15.8	15.7	15.4	15.4	15.3	15.1	15.2	15.3	15.1	15.1	15.3	14.7	14.9	14.9	14.9	14.9	14.7	14.0	13.7	13.7	13.6	14.4	14.4	14.1	14.1	15.0	16.0	13.6
輪 谷 湾	1m	15.4	15.5	15.5	15.4	15.3	15.2	15.0	15.1	14.9	14.7	14.4	14.4	14.6	14.6	14.5	14.5	14.5	14.5	14.1	14.1	14.4	14.2	14.4	13.4	13.2	13.1	13.4	14.0	13.9	13.7	13.7	14.4	15.5	13.1	
	3m	15.3	15.4	15.4	15.4	15.2	15.1	14.9	15.0	14.8	14.6	14.4	14.4	14.5	14.4	14.4	14.5	14.4	14.5	14.1	14.1	14.4	14.2	14.4	13.3	13.1	13.1	13.3	13.9	13.9	13.7	13.7	14.4	15.4	13.1	
片 匂	1m	15.4	15.2	15.3	15.1	15.0	14.9	15.0	14.8	14.7	14.5	14.6	14.5	14.5	14.4	14.5	14.5	14.4	14.3	※1	14.6	14.5	14.4	14.0	13.3	13.2	13.1	13.4	13.8	13.6	13.3	13.3	14.3	15.4	13.1	
	3m	15.6	15.3	15.6	15.3	15.2	15.1	15.1	15.1	14.8	14.7	14.8	14.7	14.7	14.7	14.6	14.7	14.6	14.6	14.5	※1	14.8	14.7	14.7	14.2	13.6	13.5	13.4	13.6	14.0	13.9	13.5	13.5	14.6	15.6	13.4
御 津	1m	14.8	14.5	14.6	14.7	14.3	14.0	14.3	14.0	14.1	14.0	13.9	13.4	13.2	12.6	13.6	13.6	13.6	13.0	12.8	13.4	13.4	13.0	13.8	11.5	11.4	12.2	11.9	12.3	12.8	13.7	13.7	13.4	14.8	11.4	
	3m	14.8	14.7	14.7	14.9	14.5	14.2	14.4	14.2	14.0	14.2	14.1	13.9	13.4	12.8	13.2	13.7	13.8	13.9	13.1	13.6	13.6	13.6	14.1	11.8	11.4	12.3	12.1	12.5	13.1	14.0	14.1	13.6	14.9	11.4	

※1 荒天による停電に伴う欠測

場 所	日 深	上 旬 (6日)	中 旬 (13日)	下 旬 (28日)	水深別 平均	月 間	
							最高
※2 放水口沖 (1号)	0m	15.5	15.2	14.2	15.0	15.5	14.2
	1m	15.5	15.3	14.2	15.0	15.5	14.2
	2m	15.5	15.3	14.2	15.0	15.5	14.2
	3m	15.5	15.3	14.2	15.0	15.5	14.2
	4m	15.5	15.3	14.2	15.0	15.5	14.2
	5m	15.5	15.3	14.2	15.0	15.5	14.2
	6m	15.5	15.3	14.2	15.0	15.5	14.2
	7m	15.5	15.3	14.2	15.0	15.5	14.2
	8m	15.5	15.3	14.2	15.0	15.5	14.2
	9m	15.5	15.3	14.2	15.0	15.5	14.2
10m	15.5	15.3	14.2	15.0	15.5	14.2	

※2 放水口沖水溫は、可搬式水溫計による実測値。

# 島根原子力発電所 沿岸定点の水溫 (平成28年2月)

観測時刻 10 時

(単位: °C)

場所	日 水深	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	水深別 平均	月間 最高 最低	
		1号機放水口	1m	13.5	13.5	13.7	13.7	13.5	13.4	13.1	13.1	13.1	13.0	13.1	13.3	13.6	13.6	13.2	13.0	12.6	12.8	13.1	13.1	12.9	12.8	12.9	12.6	12.5	12.6	12.6		12.6	12.6
2号機放水口	1m	14.7	14.0	13.4	14.5	14.7	14.2	13.7	13.6	13.7	13.7	13.6	13.7	14.0	14.3	14.2	14.0	14.2	14.0	13.9	14.1	13.5	13.1	13.9	13.6	13.7	13.1	13.5	13.1	13.1	13.8	14.7	13.1
3号機放水口	4m	13.9	13.8	14.0	13.9	13.8	13.6	13.4	13.5	13.4	13.5	13.4	13.5	13.7	13.9	13.9	13.7	13.4	13.1	13.3	13.4	13.3	13.0	13.2	13.2	13.0	13.1	13.1	13.1	13.1	13.5	14.0	13.0
輪谷湾	1m	13.6	13.2	13.5	13.7	13.5	13.4	13.0	12.8	13.0	12.9	13.0	13.2	13.6	13.7	13.3	12.8	12.6	12.8	13.0	13.2	12.8	12.7	12.8	12.5	12.4	12.5	12.5	12.5	12.5	13.0	13.7	12.4
	3m	13.5	13.2	13.5	13.6	13.4	13.4	12.9	12.9	13.0	12.8	13.0	13.2	13.6	13.6	13.2	12.8	12.5	12.8	13.0	13.2	12.7	12.7	12.8	12.5	12.3	12.5	12.5	12.6	12.5	13.0	13.6	12.3
片匂	1m	13.5	13.3	13.6	13.4	13.0	13.1	12.9	12.8	12.8	13.1	13.0	13.2	13.4	13.5	13.3	12.7	12.5	12.5	12.9	12.8	12.3	12.6	12.6	12.5	12.5	12.5	12.3	12.3	12.5	12.9	13.6	12.3
	3m	13.7	13.6	13.8	13.6	13.2	13.3	13.2	13.0	13.0	13.3	13.2	13.4	13.6	13.7	13.5	12.9	12.7	12.8	13.0	13.1	12.5	12.8	12.9	12.8	12.8	12.8	12.6	12.5	12.7	13.1	13.8	12.5
御津	1m	13.4	12.4	12.8	13.6	13.3	12.9	11.9	12.7	12.0	12.2	12.1	12.6	13.0	13.6	12.8	11.6	11.6	11.8	12.0	12.5	11.8	12.4	12.4	11.9	11.7	11.2	11.4	11.7	11.9	12.3	13.6	11.2
	3m	13.6	13.5	13.9	13.8	13.7	13.1	12.3	12.8	12.3	12.4	12.2	12.7	13.3	13.8	13.0	12.1	11.8	11.9	12.1	12.7	12.2	12.7	12.5	12.2	11.9	11.5	11.6	11.8	12.2	12.6	13.9	11.5

場所	日 水深	上旬 (3日)	中旬 (12日)	下旬 (22日)	水深別 平均	月間 最高 最低	
		日 水深	上旬 (3日)	中旬 (12日)		下旬 (22日)	最高
※ 放水口沖水溫は、可搬式水溫計による実測値。 放水口沖 (1号)	0m	13.7	13.5	12.9	13.4	13.7	12.9
	1m	13.6	13.5	12.9	13.3	13.6	12.9
	2m	13.7	13.5	12.9	13.4	13.7	12.9
	3m	13.7	13.5	12.9	13.4	13.7	12.9
	4m	13.7	13.5	12.9	13.4	13.7	12.9
	5m	13.7	13.5	12.9	13.4	13.7	12.9
	6m	13.7	13.5	12.9	13.4	13.7	12.9
	7m	13.7	13.5	12.9	13.4	13.7	12.9
	8m	13.7	13.5	12.8	13.3	13.7	12.8
	9m	13.7	13.5	12.9	13.4	13.7	12.9
10m	13.7	13.5	12.8	13.3	13.7	12.8	

※ 放水口沖水溫は、可搬式水溫計による実測値。

# 島根原子力発電所 沿岸定点の水温 (平成28年3月)

観測時刻 10 時

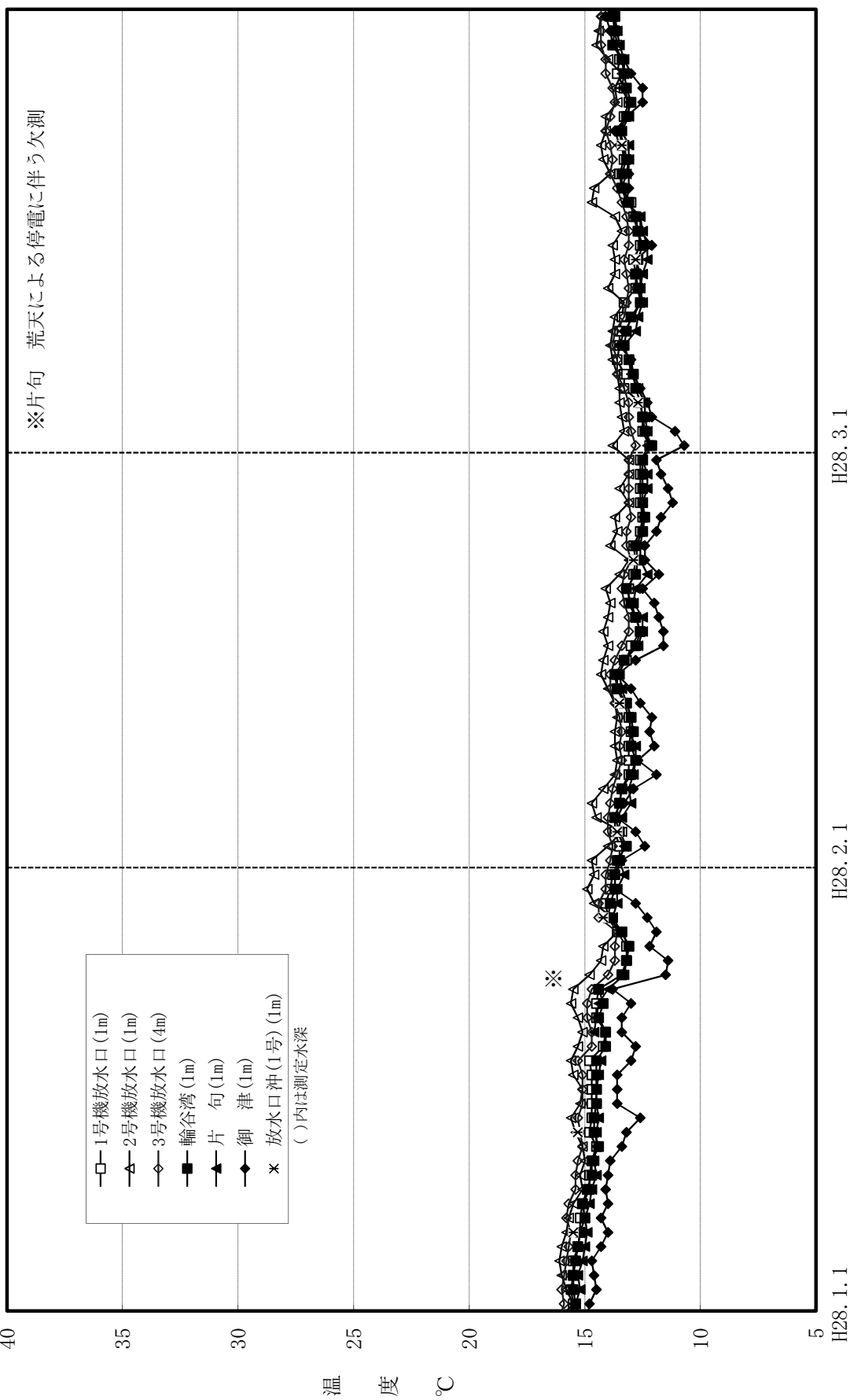
(単位: °C)

場所	日 水深	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	水深別 平均	月間		
																																		最高	最低	
1号機放水口	1m	12.2	12.5	12.5	12.6	13.3	13.3	13.6	13.5	13.5	13.4	13.3	12.8	12.8	12.9	12.6	12.7	12.9	13.0	13.4	13.5	13.3	13.4	13.5	13.3	13.1	13.3	13.6	13.5	13.6	13.7	13.7	13.7	13.2	13.7	12.2
	1m	13.8	13.3	13.4	13.5	13.6	13.8	13.9	13.8	13.7	13.8	13.7	13.3	14.0	13.7	13.8	13.4	13.7	14.7	14.6	13.9	14.2	14.3	14.1	14.1	13.6	13.7	13.4	14.0	14.5	14.4	14.3	13.9	14.7	13.3	
	4m	12.8	13.0	13.1	13.1	13.3	13.6	13.8	13.7	13.3	13.2	13.3	13.2	13.1	13.2	13.3	13.1	13.2	13.4	13.6	13.9	13.8	13.9	14.1	13.9	13.7	13.8	14.1	14.1	14.3	14.3	14.3	13.6	14.3	12.8	
輪谷湾	1m	12.1	12.4	12.5	12.6	12.8	12.9	13.1	13.3	13.2	13.0	12.6	12.7	12.8	12.7	12.5	12.7	12.8	13.1	13.4	13.4	13.2	13.3	13.5	13.2	13.0	13.2	13.3	13.4	13.8	13.7	13.8	13.0	13.8	12.1	
	3m	12.0	12.3	12.5	12.6	12.8	12.9	13.1	13.2	13.2	12.9	12.5	12.7	12.9	12.9	12.5	12.7	12.8	13.0	13.3	13.3	13.2	13.3	13.5	13.2	13.0	13.2	13.4	13.4	13.7	13.7	13.7	13.0	13.7	12.0	
片 匂	1m	12.3	12.3	12.4	12.4	12.7	13.0	13.1	13.3	12.8	12.7	12.5	12.6	12.5	12.3	12.3	12.5	12.6	13.2	13.4	13.2	13.1	13.4	13.1	13.1	13.4	13.3	13.3	13.3	13.5	13.6	13.7	12.9	13.7	12.3	
	3m	12.5	12.6	12.6	12.6	12.9	13.2	13.3	13.4	13.1	12.9	12.8	12.8	12.9	12.9	12.5	12.8	12.8	13.3	13.6	13.4	13.3	13.3	13.6	13.3	13.3	13.6	13.6	13.5	13.7	13.7	13.9	13.1	13.9	12.5	
御 津	1m	10.7	11.1	12.1	12.3	12.6	12.9	13.0	13.5	13.3	12.9	12.6	12.6	12.6	12.6	12.8	12.1	12.6	12.6	13.2	13.1	13.1	13.5	13.7	13.2	12.5	12.5	13.0	13.3	13.8	13.9	14.1	12.8	14.1	10.7	
	3m	10.9	11.3	12.1	12.5	12.8	13.1	13.2	13.6	13.6	13.1	12.8	12.9	12.8	13.0	12.3	12.7	12.7	13.3	13.3	13.3	13.8	13.7	13.8	13.4	12.7	12.5	13.1	13.4	13.9	14.0	14.2	13.0	14.2	10.9	

場所	日 水深	上 旬 (4日)	中 旬 (14日)	下 旬 (22日)	水深別 平均	月間	
							最高
※ 放水口沖 (1号)	0m	12.7	12.8	13.5	13.0	13.5	12.7
	1m	12.7	12.8	13.4	13.0	13.4	12.7
	2m	12.7	12.8	13.4	13.0	13.4	12.7
	3m	12.7	12.8	13.4	13.0	13.4	12.7
	4m	12.7	12.8	13.4	13.0	13.4	12.7
	5m	12.7	12.8	13.4	13.0	13.4	12.7
	6m	12.7	12.8	13.4	13.0	13.4	12.7
	7m	12.7	12.9	13.4	13.0	13.4	12.7
	8m	12.7	12.9	13.4	13.0	13.4	12.7
	9m	12.7	12.9	13.4	13.0	13.4	12.7
10m	12.7	12.9	13.4	13.0	13.4	12.7	

※ 放水口沖水温は、可搬式水温計による実測値。

島根原子力発電所 沿岸定点の水溫推移 (平成28年1月~3月)



島根原子力発電所 沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果

測定年月日 平成28年3月4日

場 所	時刻	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	水深別 平均	最高	最低	
	水深																												
1号機放水口	1m	12.6	12.5	12.5	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.8	13.0	13.1	13.1	13.0	13.0	13.0	13.0	12.9	13.0	12.9	12.9	12.9	13.0	12.8	13.1	12.5	
	1m	13.5	13.5	13.4	13.4	13.4	13.4	13.2	13.4	13.4	13.4	13.5	13.4	13.4	13.4	13.4	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5	13.4	13.5	13.2
2号機放水口	1m	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1
	4m	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1
輪 谷	1m	12.6	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.6	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.8	12.8	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.8	12.5	
	3m	12.5	12.5	12.5	12.5	12.6	12.5	12.5	12.5	12.5	12.6	12.6	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.7	12.5	
片 匂	1m	12.5	12.5	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.5	12.6	12.7	12.7	12.7	12.6	12.6	12.6	12.6	12.7	12.7	12.7	12.5	12.8	12.4	
	3m	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.7	12.7	12.7	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8	12.9	13.0	13.0	12.7	13.0	12.6	
御 津	1m	12.3	12.2	12.2	12.2	12.3	12.2	12.3	12.3	12.3	12.3	12.4	12.4	12.4	12.5	12.9	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6	12.6	12.6	12.5	12.9	12.2	
	3m	12.7	12.6	12.5	12.5	12.5	12.4	12.4	12.5	12.5	12.5	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.5	12.6	12.7	12.7	12.9	13.0	13.0	12.6	13.0	12.4		

# III 参 考 资 料

# 1. 島根原子力発電所敷地内におけるモニタリングポスト測定結果

単 位 : 【 nGy/h 】

	区 分	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6
4月	平 均 値	22	27	35	24	32	29
	最 大 値	40	44	55	45	53	45
5月	平 均 値	22	27	35	25	33	29
	最 大 値	46	47	62	48	57	49
6月	平 均 値	23	28	36	25	33	30
	最 大 値	56	56	70	61	66	61
7月	平 均 値	21	27	35	24	32	29
	最 大 値	53	54	70	57	66	58
8月	平 均 値	22	28	36	25	33	29
	最 大 値	45	48	72	58	60	52
9月	平 均 値	21	28	35	25	33	29
	最 大 値	42	46	57	45	54	48
10月	平 均 値	21	28	35	25	33	29
	最 大 値	52	57	66	61	66	57
11月	平 均 値	22	29	36	26	34	30
	最 大 値	49	61	70	57	62	55
12月	平 均 値	21	28	35	26	34	30
	最 大 値	56	58	71	64	69	57
1月	平 均 値	21	28	35	25	34	30
	最 大 値	45	55	60	48	67	48
2月	平 均 値	23	29	38	27	36	32
	最 大 値	63	52	85	77	76	62
3月	平 均 値	21	28	32	23	31	29
	最 大 値	32	38	45	35	42	37
前年度までのデータ	月平均値の範囲	19~25	23~30	30~40	21~26	28~33	26~31
	2分値の最大値	84	86	115	105	130	100

- (注) 1. 測定者 中国電力  
 2. 測定方法 3"φ球形NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償型)を使用し、50keV~3MeVのエネルギー範囲で測定した。  
 3. 平成13年4月から2分値を測定値としている。  
 このため、「前年度までのデータ」は、平成13年4月~27年3月の2分値について記載した。



## 2. 島根原子力発電所における放射性廃棄物管理の状況

### (1) 液体廃棄物及び気体廃棄物

		液体廃棄物		気体廃棄物					
		トリチウムを除く (Bq)	トリチウム (Bq)	放射性希ガス (Bq)	放射性 よう素 [ <sup>131</sup> I] (Bq)	トリチウム (Bq)	全粒子状物質 (四半期合計値) (Bq)		
							γ線 放出核種	<sup>89</sup> Sr, <sup>90</sup> Sr	全α 放射能
原 子 力 発 電 所 設 計 合 計	4月	ND	6.3×10 <sup>9</sup>	ND	ND	4.0×10 <sup>9</sup>	ND	ND	ND
	5月	ND	2.3×10 <sup>9</sup>	ND	ND	4.6×10 <sup>9</sup>			
	6月	ND	3.4×10 <sup>9</sup>	ND	ND	5.4×10 <sup>9</sup>			
	7月	ND	2.4×10 <sup>9</sup>	ND	ND	6.5×10 <sup>9</sup>	ND	ND	ND
	8月	ND	2.0×10 <sup>8</sup>	ND	ND	7.5×10 <sup>9</sup>			
	9月	ND	2.0×10 <sup>9</sup>	ND	ND	7.2×10 <sup>9</sup>			
	10月	ND	3.4×10 <sup>9</sup>	ND	ND	6.3×10 <sup>9</sup>	ND	ND	ND
	11月	ND	5.1×10 <sup>9</sup>	ND	ND	5.5×10 <sup>9</sup>			
	12月	ND	7.3×10 <sup>9</sup>	ND	ND	4.2×10 <sup>9</sup>			
	1月	ND	5.4×10 <sup>7</sup>	ND	ND	3.5×10 <sup>9</sup>	ND	ND	ND
	2月	ND	5.3×10 <sup>9</sup>	ND	ND	2.8×10 <sup>9</sup>			
	3月	ND	6.7×10 <sup>9</sup>	ND	ND	3.1×10 <sup>9</sup>			
年間合計	ND	4.5×10 <sup>10</sup>	ND	ND	6.1×10 <sup>10</sup>	ND	ND	ND	
年間放出 管理目標値	7.4×10 <sup>10</sup>	(7.4×10 <sup>12</sup> ) (注2)	8.4×10 <sup>14</sup>	4.3×10 <sup>10</sup>					

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

検出下限値は、液体廃棄物(トリチウムを除く)	約2×10 <sup>-2</sup> Bq/cm <sup>3</sup> ( <sup>60</sup> Coで代表)
気体廃棄物(放射性希ガス)	約2×10 <sup>-2</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
気体廃棄物(放射性よう素)	約7×10 <sup>-9</sup> Bq/cm <sup>3</sup>
気体廃棄物(γ線放出核種)	約4×10 <sup>-9</sup> Bq/cm <sup>3</sup> ( <sup>60</sup> Coで代表)
気体廃棄物( <sup>89</sup> Sr, <sup>90</sup> Sr)	約4×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup> ( <sup>90</sup> Srで代表)
気体廃棄物(全α放射能)	約4×10 <sup>-10</sup> Bq/cm <sup>3</sup>

2. 年間放出管理の基準値

## (2) 固体廃棄物

		固 体 廃 棄 物					
		ドラム缶			その他の種類		
		発生量 (本)	焼却量・ 減容処理量等 (本)	累 積 保管量 (本)	発生量 (本相当)	焼却量・ 減容処理量等 (本相当)	累 積 保管量 (本相当)
原 子 炉 施 設 合 計	4月	336	52	26,294	35	116	2,062
	5月	278	0	26,572	2	160	1,904
	6月	387	14	26,945	0	72	1,832
	7月	327	72	27,200	0	0	1,832
	8月	258	0	27,458	0	0	1,832
	9月	291	0	27,749	0	0	1,832
	10月	364	0	28,113	59	0	1,891
	11月	452	0	28,565	13	0	1,904
	12月	414	0	28,979	0	0	1,904
	1月	187	0	29,166	59	0	1,963
	2月	310	10	29,466	0	0	1,963
	3月	446	79	29,833	4	0	1,967
年間合計		4,050	227	29,833	172	348	1,967

(注) 1. 固体廃棄物貯蔵所の保管容量は、45,500本である。

### 3. 島根原子力発電所の運転状況

#### 1 号機 (定格電気出力：46万kW)

	運 転 状 況	時間稼働率(%)	設備利用率(%)
4月	第29回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
5月	第29回施設定期検査のため発電停止中	(注3)	(注3)
6月	第29回施設定期検査のため発電停止中	(注3)	(注3)
7月	第29回施設定期検査のため発電停止中	(注3)	(注3)
8月	第29回施設定期検査のため発電停止中	(注3)	(注3)
9月	第29回施設定期検査のため発電停止中	(注3)	(注3)
10月	第29回施設定期検査のため発電停止中	(注3)	(注3)
11月	第29回施設定期検査のため発電停止中	(注3)	(注3)
12月	第29回施設定期検査のため発電停止中	(注3)	(注3)
1月	第29回施設定期検査のため発電停止中	(注3)	(注3)
2月	第29回施設定期検査のため発電停止中	(注3)	(注3)
3月	第29回施設定期検査のため発電停止中	(注3)	(注3)

#### 2 号機 (定格電気出力：82万kW)

	運 転 状 況	時間稼働率(%)	設備利用率(%)
4月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
5月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
6月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
7月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
8月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
9月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
10月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
11月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
12月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
1月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
2月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
3月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0

(注) 1. 時間稼働率= $\frac{\text{稼働時間数}}{\text{暦時間数}} \times 100(\%)$

2. 設備利用率= $\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可電気出力} \times \text{暦時間数}} \times 100(\%)$

3. 1号機については平成27年4月30日付で運転終了

#### 4. 環境放射能の検出下限値

##### (1) 地表面における人工放射能

##### 1) 人工放射能面密度の検出下限値

単 位 : 【 kBq/m<sup>2</sup> 】

測定地点	測定月日	対象核種						測定者
		<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>137</sup> Cs	
片 句	5月29日	0.03	0.05	0.02	0.02	0.03	0.02	島根県
	11月20日	0.02	0.05	0.02	0.02	0.03	0.02	〃
手 結	5月29日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
	11月20日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
古 浦	5月29日	0.02	0.06	0.02	0.03	0.03	0.03	〃
	11月16日	0.02	0.05	0.02	0.03	0.03	0.03	〃
佐 陀 本 郷	5月31日	0.02	0.05	0.02	0.03	0.03	0.03	〃
	11月20日	0.02	0.05	0.02	0.03	0.03	0.03	〃
西 生 馬	5月31日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
	11月24日	0.03	0.07	0.03	0.03	0.04	0.03	〃
西 川 津	5月29日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
	11月20日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
加 賀	5月29日	0.02	0.05	0.02	0.03	0.03	0.03	〃
	11月16日	0.02	0.05	0.02	0.03	0.03	0.03	〃
大 芦	5月29日	0.02	0.05	0.02	0.03	0.03	0.03	〃
	11月16日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
御 津	5月29日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.04	0.03	〃
	11月16日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
上 講 武	5月29日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.04	0.03	〃
	11月16日	0.03	0.06	0.02	0.03	0.03	0.03	〃
北 講 武	5月29日	0.02	0.05	0.02	0.02	0.03	0.03	〃
	11月16日	0.02	0.05	0.02	0.02	0.03	0.02	〃
佐 陀 宮 内	5月29日	0.03	0.06	0.02	0.03	0.03	0.03	〃
	11月20日	0.03	0.06	0.02	0.03	0.03	0.02	〃
西 浜 佐 陀	5月31日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
	11月24日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃

## (2) 環境試料中の放射能

## 1) ガンマ線スペクトロメトリ-対象核種の検出下限値

浮遊塵

単位:【 $\mu\text{Bq}/\text{m}^3$ 】

採取地点	採取期間	対象核種					測定者
		$^{54}\text{Mn}$	$^{59}\text{Fe}$	$^{58}\text{Co}$	$^{60}\text{Co}$	$^{137}\text{Cs}$	
御津	4月1日～4月30日	2.77	9.93	3.59	3.95	3.12	島根県
	4月30日～6月1日	2.77	8.04	3.28	3.42	2.86	〃
	6月1日～7月1日	2.52	9.03	3.36	3.61	2.83	〃
	7月1日～7月31日	3.85	8.06	2.73	3.06	2.42	〃
	7月31日～9月1日	2.27	6.56	2.98	2.80	3.74	〃
	9月1日～10月2日	2.46	9.71	3.19	3.15	2.50	〃
	10月2日～11月2日	2.21	7.32	2.92	3.00	2.39	〃
	11月2日～12月2日	2.46	7.79	3.01	3.53	2.66	〃
	12月2日～1月4日	2.35	6.12	2.72	2.61	2.18	〃
	1月4日～2月1日	3.98	7.99	2.87	3.17	2.46	〃
	2月1日～2月29日	2.65	9.28	3.23	3.36	2.87	〃
	2月29日～4月1日	2.53	8.01	2.95	3.14	2.44	〃
古浦	4月1日～4月30日	2.70	8.76	3.43	3.56	2.71	〃
	4月30日～6月1日	2.46	8.48	2.96	3.19	2.51	〃
	6月1日～7月1日	3.40	9.43	3.62	3.60	3.02	〃
	7月1日～7月31日	4.61	8.41	2.92	3.59	2.35	〃
	7月31日～9月1日	2.17	9.28	2.62	2.99	2.26	〃
	9月1日～10月2日	3.41	8.60	2.83	2.69	2.23	〃
	10月2日～11月2日	2.16	8.06	2.55	2.97	2.34	〃
	11月2日～12月2日	2.32	7.24	2.70	2.96	2.47	〃
	12月2日～1月4日	1.86	6.29	2.40	2.54	1.93	〃
	1月4日～2月1日	4.11	8.54	2.88	3.38	2.52	〃
	2月1日～2月29日	2.36	8.39	2.99	3.10	2.60	〃
	2月29日～4月1日	4.23	8.34	4.51	3.11	2.40	〃
西浜佐陀	4月13日～4月30日	31.7	272	71.5	44.5	40.8	〃
	4月30日～6月1日	16.1	171	32.9	23.9	17.0	〃
	6月1日～7月1日	16.3	73.0	25.4	32.3	17.2	〃
	7月1日～7月31日	4.72	9.18	3.05	3.35	4.05	〃
	7月31日～9月1日	2.56	6.85	3.18	3.23	2.69	〃
	9月1日～10月2日	4.47	9.89	3.16	2.85	2.41	〃
	10月2日～11月2日	4.54	7.74	3.11	3.23	2.42	〃
	11月2日～12月2日	2.30	6.78	2.69	3.17	2.54	〃
	12月2日～1月4日	2.31	6.86	2.49	2.53	2.11	〃
	1月4日～2月1日	2.54	9.04	3.25	3.52	2.69	〃
	2月1日～2月29日	4.54	9.38	3.22	3.24	2.70	〃
	2月29日～4月1日	2.35	7.59	2.70	3.00	2.42	〃

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種の検出下限値

陸 水 単 位 : 【 mBq/ℓ 】

試料名	部位	採地	取点	採取月日	対 象 核 種					測 定 者
					<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>137</sup> Cs	
池水	表層水	一 矢	5月14日	0.36	1.23	0.42	0.44	0.35	島 根 県	
				0.48	1.19	0.49	0.53	0.44	中 国 電 力	
		上 講 武	5月22日	0.49	0.94	0.52	0.51	0.40	”	
水道 原水	着水	古 志 浄 水 場	5月14日	0.35	1.06	0.39	0.41	0.31	島 根 県	
				0.42	0.96	0.46	0.51	0.41	中 国 電 力	
			11月17日	0.32	1.67	0.49	0.37	0.31	島 根 県	
				0.58	1.11	0.45	0.47	0.42	中 国 電 力	
	井水	忌 部 浄 水 場	5月14日	0.34	1.39	0.44	0.44	0.33	島 根 県	
				0.48	1.03	0.49	0.53	0.43	中 国 電 力	
			11月17日	0.34	2.02	0.52	0.44	0.31	島 根 県	
				0.47	1.06	0.46	0.52	0.43	中 国 電 力	

植 物 単 位 : 【 Bq/kg(生) 】

試料名	部位	採地	取点	採取月日	対 象 核 種						測 定 者
					<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>137</sup> Cs	
松葉	2年葉	御 津	4月22日	0.07	0.39	0.13	0.07	0.16	0.04	島 根 県	
				0.04	0.10	0.03	0.05	0.13	0.02	”	
		西浜佐陀	11月17日	0.05	0.19	0.05	0.05	0.13	0.04	”	
				0.05	0.22	0.07	0.05	/	0.04	中 国 電 力	
深 田 北	10月7日	0.05	0.19	0.05	0.05	0.13	0.04	”			
		0.05	0.22	0.07	0.05	/	0.04	中 国 電 力			

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種の検出下限値

農 産 物

単 位 : 【 Bq/kg(生)】

試料名	部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種						測 定 者
				<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>137</sup> Cs	
大 根	根	御 津	12月8日	0.01	0.09	0.02	0.02	/	0.01	島 根 県
		根連木	4月9日	0.01	0.04	0.01	0.02	/	0.01	中 国 電 力
			12月7日	0.01	0.09	0.02	0.02	/	0.01	島 根 県
ほうれん草	葉	御 津	12月8日	0.06	0.27	0.06	0.07	0.07	0.03	〃
		根連木	12月7日	0.03	0.27	0.05	0.06	0.06	0.04	〃
				0.05	0.17	0.05	0.07	/	0.04	中 国 電 力
キャベツ	葉	御 津	5月7日	0.01	0.07	0.02	0.02	/	0.01	島 根 県
		根連木	5月7日	0.01	0.09	0.02	0.03	/	0.01	〃
精 米		尾 坂	10月8日	0.02	0.05	0.01	0.02	0.05	0.01	〃
				0.01	0.05	0.02	0.02	/	0.01	中 国 電 力
茶 葉		北講武	5月11日	0.03	0.17	0.03	0.05	0.11	0.02	島 根 県
				0.04	0.11	0.03	0.04	0.13	0.03	中 国 電 力

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種の検出下限値

牛 乳

単 位：【 mBq/ℓ】

試 料 名	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種		測 定 者
			<sup>131</sup> I		
原 乳	南 講 武	4月9日	41		島 根 県
			46		中 国 電 力
		7月10日	44		島 根 県
		10月14日	44		”
			67		中 国 電 力
1月15日	96		島 根 県		

陸 土（濃 度）

単 位：【 Bq/kg(乾物)】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					測 定 者
			<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>137</sup> Cs	
表 層 土 (0~5 cm)	南 講 武	5月15日	0.96	1.61	0.56	0.67	0.79	島 根 県
	片 句	5月15日	0.83	2.10	0.57	0.71	0.81	”
	佐 陀 宮 内	5月15日	0.74	2.36	0.72	0.72	0.66	”
			0.90	1.61	0.73	0.81	0.72	中 国 電 力
	西 浜 佐 陀	5月22日	1.05	2.32	0.73	0.75	0.56	島 根 県

陸 土（面 密 度）

単 位：【 kBq/m<sup>2</sup>】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					測 定 者
			<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>137</sup> Cs	
表 層 土 (0~5 cm)	南 講 武	5月15日	0.02	0.03	0.01	0.01	0.02	島 根 県
	片 句	5月15日	0.03	0.08	0.02	0.03	0.03	”
	佐 陀 宮 内	5月15日	0.02	0.06	0.02	0.02	0.02	”
			0.02	0.04	0.02	0.02	0.02	中 国 電 力
	西 浜 佐 陀	5月22日	0.02	0.04	0.01	0.01	0.01	島 根 県



1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種の検出下限値

海 水

単 位：【 mBq/ℓ】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					測 定 者
			<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>137</sup> Cs	
表層水	1号機放水口	4月23日	1.05	6.86	2.07	1.16	0.96	島根県
			1.36	2.92	1.25	1.29	0.88	中国電力
		10月6日	0.92	5.38	1.45	1.20	1.05	島根県
			1.35	2.67	1.26	1.49	0.97	中国電力
	2号機放水口付近	4月22日	1.74	6.21	1.71	1.18	1.14	島根県
		10月15日	1.38	3.13	1.29	1.48	0.82	中国電力
	3号機放水口付近	4月22日	1.73	6.01	1.81	1.15	1.04	島根県
		10月15日	1.42	4.09	1.47	1.41	0.87	中国電力
	取 水 口	4月23日	1.49	3.10	1.55	1.40	0.96	〃
		10月6日	1.19	2.30	1.22	1.22	0.81	〃
	1号機放水口沖	4月22日	1.02	4.53	1.42	1.06	0.65	島根県
		10月15日	1.50	4.06	1.27	1.04	0.76	〃
	2・3号機放水口沖	4月22日	0.88	4.40	1.36	1.02	0.67	〃
		10月15日	1.60	4.31	1.37	1.08	0.83	〃
	手 結 沖	4月22日	0.89	4.61	1.46	1.00	0.63	〃
		10月14日	1.54	2.49	1.16	1.45	0.93	中国電力

海 底 土

単 位：【 Bq/kg(乾物)】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					測 定 者
			<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>137</sup> Cs	
表層底質	1号機放水口沖	4月22日	0.78	1.56	0.50	0.56	0.68	島根県
	2・3号機放水口沖	4月22日	0.47	1.49	0.52	0.60	0.49	〃
	手 結 沖	4月22日	0.97	1.87	0.57	0.66	0.50	〃

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種の検出下限値

海産生物(1)

単位:【 Bq/kg(生) 】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対象核種					測定者
				<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>137</sup> Cs	
かさこ	肉	発電所付近 沿	4月23日 6月15日	0.07	0.21	0.05	0.07	0.05	島根県
なまこ	肉	1号機放水口湾付近	1月26日	0.03	0.08	0.02	0.03	0.02	〃
		宮崎鼻付近	1月31日	0.04	0.09	0.02	0.03	0.02	〃
さざえ	肉	1号機放水口湾 付 近	4月21日	0.04	0.15	0.04	0.06	0.05	〃
			7月5日	0.03	0.21	0.04	0.06	0.03	〃
			10月14日	0.03	0.15	0.05	0.06	0.05	〃
			1月26日	0.03	0.15	0.04	0.06	0.03	〃
		宮崎鼻 付 近	4月16日	0.03	0.13	0.03	0.06	0.04	〃
			7月12日	0.04	0.22	0.06	0.07	0.04	〃
			11月6日	0.06	0.16	0.04	0.06	0.05	〃
			1月31日	0.06	0.14	0.04	0.06	0.03	〃
	内臓	1号機放水口湾 付 近	4月21日	0.03	0.15	0.04	0.06	0.05	〃
			7月5日	0.07	0.25	0.06	0.11	0.04	〃
			10月14日	0.08	0.15	0.04	0.05	0.05	〃
			1月26日	0.03	0.15	0.04	0.05	0.03	〃
		宮崎鼻 付 近	4月16日	0.07	0.15	0.04	0.06	0.05	〃
			7月12日	0.04	0.19	0.07	0.06	0.04	〃
			11月6日	0.04	0.16	0.05	0.07	0.04	〃
			1月31日	0.08	0.18	0.05	0.07	0.04	〃
むらさきがい	むき身	1号機放水口湾 付 近	7月22日	0.03	0.21	0.05	0.06	0.04	〃
				0.08	0.36	0.10	0.07	0.06	中国電力
	宮崎鼻 付 近	7月12日		0.03	0.16	0.04	0.05	0.03	島根県
				0.06	0.27	0.08	0.06	0.04	中国電力
	浜田市	7月12日		0.02	0.10	0.03	0.04	0.03	島根県
	松江美保関町	7月21日		0.02	0.13	0.04	0.04	0.02	島根県
			0.04	0.19	0.06	0.05	0.03	中国電力	

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種の検出下限値

海産生物(2)

単 位:【 Bq/kg(生)】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対象核種						測定者
				<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>137</sup> Cs	
あらめ	仮根を除く	1号機放水口湾近付	6月21日	0.11	0.42	0.08	0.11	/	0.09	島根県
			10月14日	0.03	0.12	0.03	0.03	0.10	0.02	〃
		宮崎鼻近付	7月4日	0.10	0.39	0.08	0.13	/	0.05	〃
			12月2日	0.08	0.23	0.07	0.08	0.13	0.06	中国電力
		宮崎鼻近部海底	6月16日	0.07	0.47	0.09	0.13	/	0.09	島根県
				0.08	0.23	0.07	0.09	/	0.06	中国電力
わかめ	仮根を除く	1号機放水口湾近付	4月21日	0.10	0.29	0.07	0.09	0.06	0.06	島根県
				0.05	0.18	0.05	0.06	0.10	0.04	中国電力
岩のり	全体	1号機放水口湾近付	1月17日	0.04	0.19	0.04	0.07	/	0.03	島根県
ほんだわら類	仮根を除く	1号機放水口湾近付	6月21日	0.11	0.37	0.08	0.13	0.09	0.10	〃
				0.10	0.31	0.09	0.12	0.12	0.08	中国電力
		宮崎鼻近付	7月4日	0.12	0.47	0.11	0.13	0.12	0.06	島根県
				0.07	0.30	0.08	0.08	0.19	0.06	中国電力
		輪谷湾	7月4日	0.09	0.43	0.09	0.09	0.11	0.04	島根県
				0.08	0.26	0.08	0.09	0.14	0.06	中国電力
		浜田市	7月12日	0.07	0.43	0.12	0.10	0.09	0.05	島根県
		松江美保関町	7月21日	0.06	0.75	0.13	0.11	0.09	0.05	〃
				0.09	0.26	0.08	0.10	/	0.08	中国電力

## 2) トリチウムの検出下限値

単位：【 Bq/l】

試料名	部位	採取地点	採取月日	検出下限値	測定者			
海水	表層水	1号機放水口沖	4月22日	0.20	島根県			
				0.31	中国電力			
			10月15日	0.27	島根県			
				0.29	中国電力			
		2・3号機放水口沖	4月22日	0.20	島根県			
				0.29	中国電力			
			10月15日	0.28	島根県			
				0.29	中国電力			
		手結沖	4月22日	0.20	島根県			
			10月14日	0.30	中国電力			
		陸水	池水	表層水	一矢	5月14日	0.20	島根県
						0.28	中国電力	
水道原水	着水井		古志浄水場	5月14日	0.20	島根県		
					0.29	中国電力		
				11月17日	0.28	島根県		
					0.32	中国電力		

3) ストロンチウム 90 の検出下限値

試料名	部位	採取地点	採取月日	検出下限値	単位	測定者	
松葉	2年葉	御津	4月22日	0.31	Bq/kg(生)	島根県	
ほうれん草	葉	御津	12月8日	0.04		〃	
茶	葉	北講武	5月11日	0.06		〃	
海水	表層水	1号機放水口沖	4月22日	3.15	mBq/l	〃	
海産生物	さざえ	肉	1号機放水口湾付近	4月21日	0.04	Bq/kg(生)	〃
			宮崎鼻付近	4月16日	0.04		〃
	あらめ	仮根を除く	宮崎鼻付近	7月4日	0.07		〃
	わかめ	〃	1号機放水口湾付近	4月21日	0.08		〃
陸土	表層土 (0~5 cm)	佐陀宮内	5月15日	0.43	Bq/kg(風乾物)	〃	
				0.01	kBq/m <sup>2</sup>	〃	

## 5. 平成28年1月4日に発生した空間放射線量率の上昇について

平成28年1月4日10時56分～11時16分に末次局モニタリングポストにおいて空間放射線量率の急激な上昇等異常が見られ、11時00分に平常の変動幅を超える66nGy/hを記録した。測定器（DBM方式3インチ球形NaI(Tl)シンチレーション検出器）については故障等の機器異常は認められなかった。また同時に測定している電離箱式線量率計（技術会計画外）も同様に線量率の上昇を記録していたことから、この事象を調査した。

### 1. 調査

#### 1) 気象状況

当日は事象の時刻まで、全測定局で感雨を記録しておらず、降水は無かった。

10時から11時の間、市内の風は主に北北西～西の5～7m/s（発電所・西北西7m/s、深田北・西5m/s、古浦・西6m/s、御津・北北西5m/s、西浜佐陀・北西7m/s）でほぼ一様風であった。

#### 2) 線量率の変化およびNaIスペクトルの変化

末次局以外の測定局では線量率の上昇は無く、NaI計数比<sup>(注)</sup>の変化も認められなかった。一方、末次局のNaI計数比は通常9%程度であったものが線量率上昇時には3%程度まで低下した。10時50分から11時00分間のNaIスペクトルをみると、140keV付近にピークが見られ、入射したガンマ線は140keV程度のエネルギーであると考えられる。

#### 3) 発電所排気筒モニターおよび敷地内モニタリングポストの状況

発電所排気筒モニターおよび敷地内モニタリングポストの数値には異常な変化は認められなかった。

#### 4) 末次局周辺の状況変化等

末次局周辺の状況として、全周囲カメラの映像では、付近は市役所駐車場内であるため、日常的な人や車の往来は見られた。

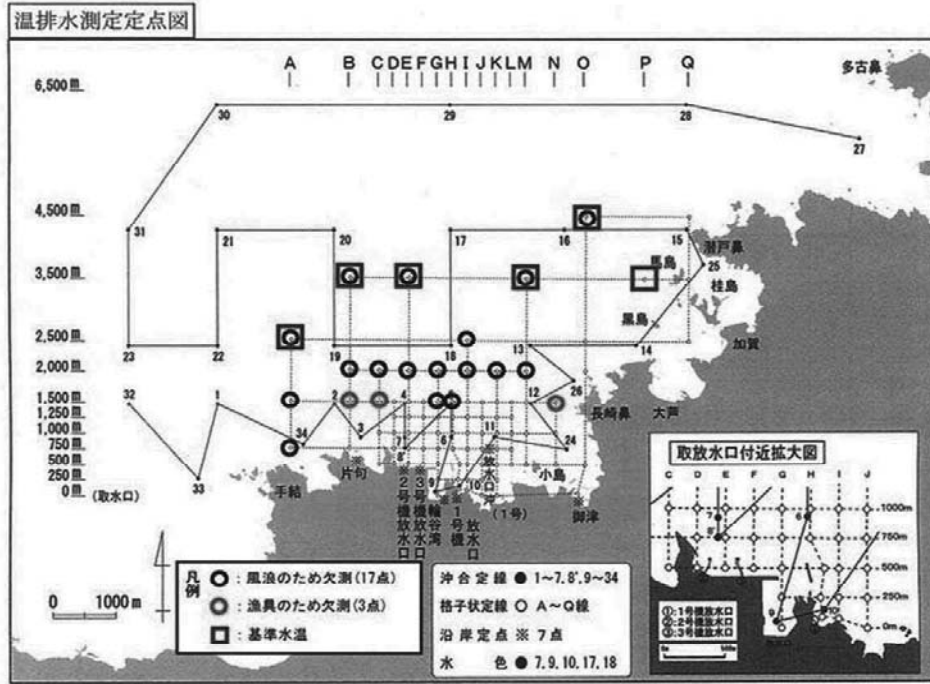
### 2. 結果

この事象の原因は、140keV程度のガンマ線が入射したためと考えられるが、末次局以外の全ての局、発電所敷地内モニタリングポストの線量率および発電所排気筒モニターの数値に異常な変化が無いことから発電所からの影響によるものではないと判断した。

なお、核医学検査での投与に利用されるTc-99mによる影響（ガンマ線143keV）は、今回検出された放射線と同じエネルギー帯の140keV程度であることから、核医学検査を受けた人からの放射線の影響を検出したものと推測される。

（注）NaI計数比とは、NaI検出器の持つガンマ線エネルギー依存性（1計数に相当する線量率がガンマ線エネルギーにより異なる性質）を補償するための波高弁別バイアス変調（DBM）回路の入力計数と出力計数の比を表しています。一般に、NaI計数比が高いほど入射ガンマ線エネルギーが高いことを示します。発電所からの人工放射性核種の $\gamma$ 線や核医学診断のR I投与患者の影響による放射線の平均エネルギーは、一般にはバックグラウンドの自然放射線核種に比べ低いものと考えられ、検出器が人工放射性核種の影響を受けると、 $\gamma$ 線の平均エネルギーは低くなり、計数比も低下します。また、雨の影響を受けた場合は、バックグラウンドの $\gamma$ 線平均エネルギーより高いため、計数比は一般には上昇します。

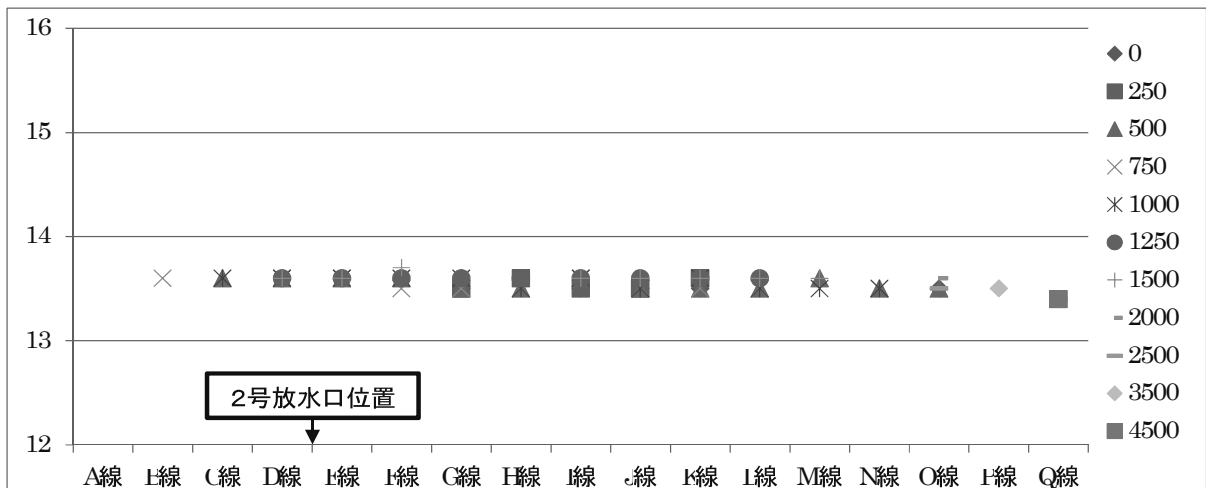
## 6. 格子状定線測定温度分布図(H28.3.23実施) (1/4)



[0m層]

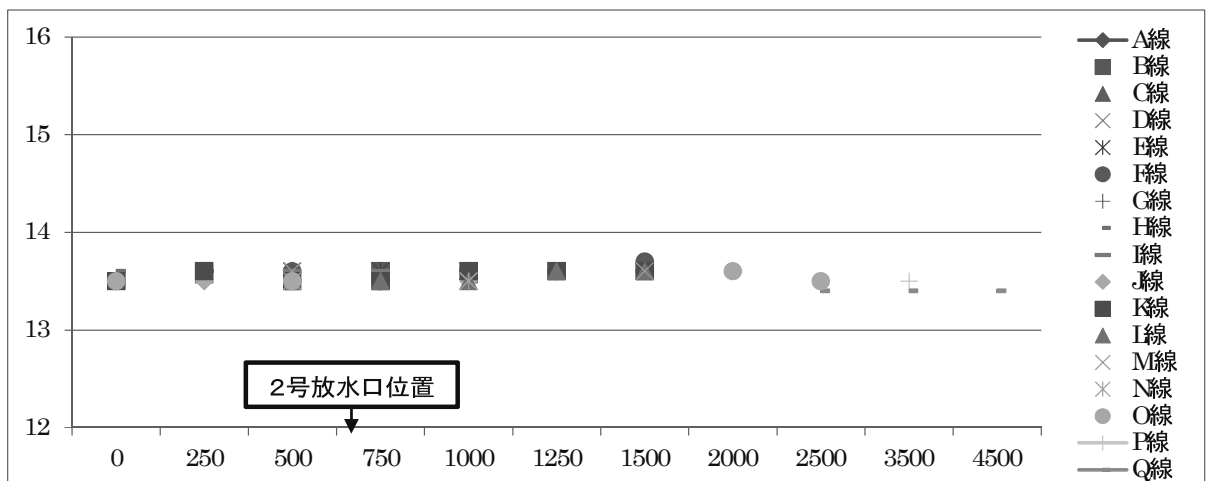
東西方向温度分布図(A線~Q線)

水温の最高 13, 7 水温の最低 13, 4 (°C)

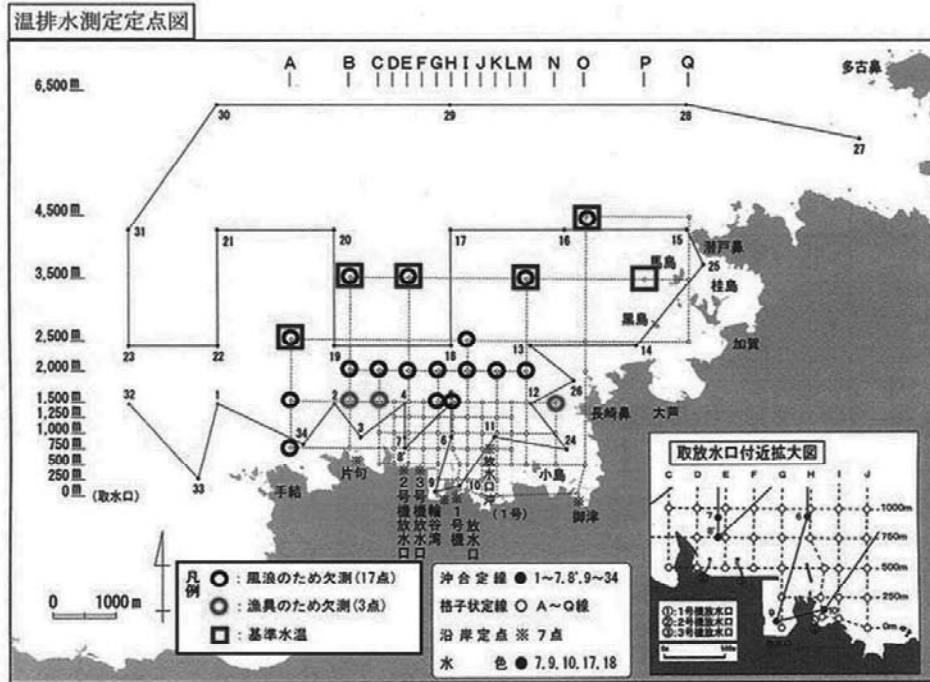


南北方向温度分布図(0m~4500m)

水温の最高 13, 7 水温の最低 13, 4 (°C)



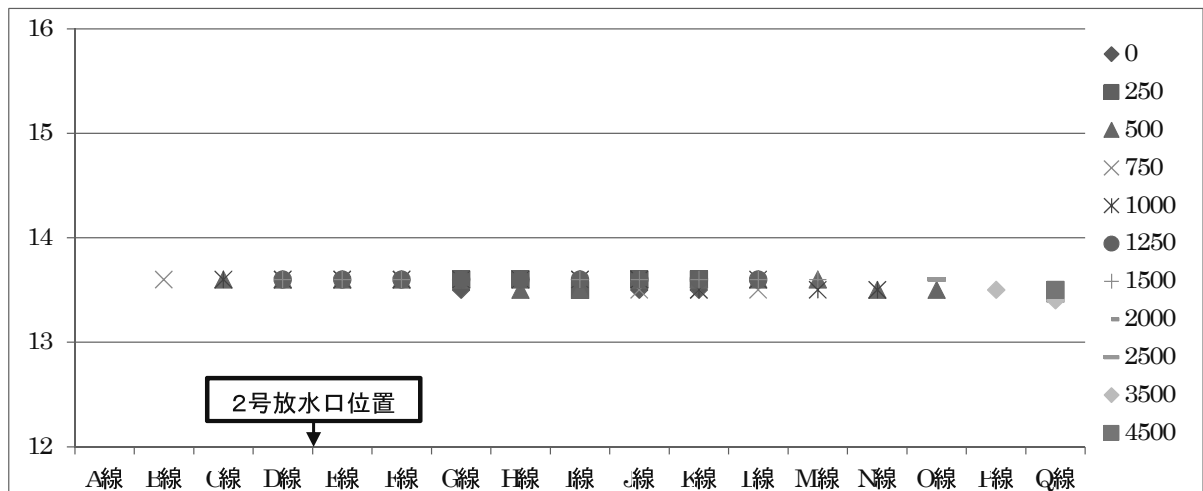
## 6. 格子状定線測定温度分布図(H28.3.23実施) (2/4)



[5m層]

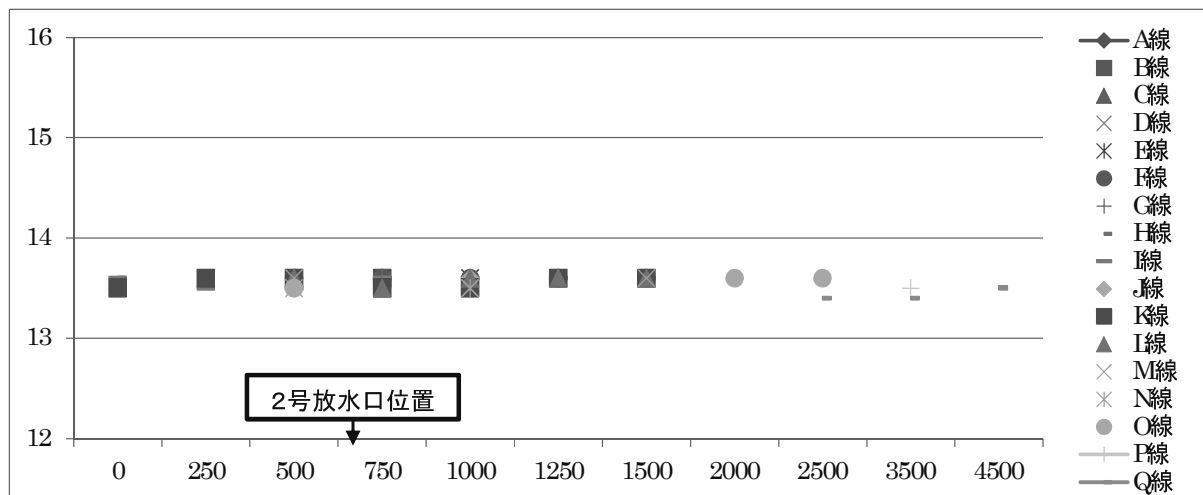
東西方向温度分布図(A線~Q線)

水温の最高 13, 7 水温の最低 13, 4 (°C)



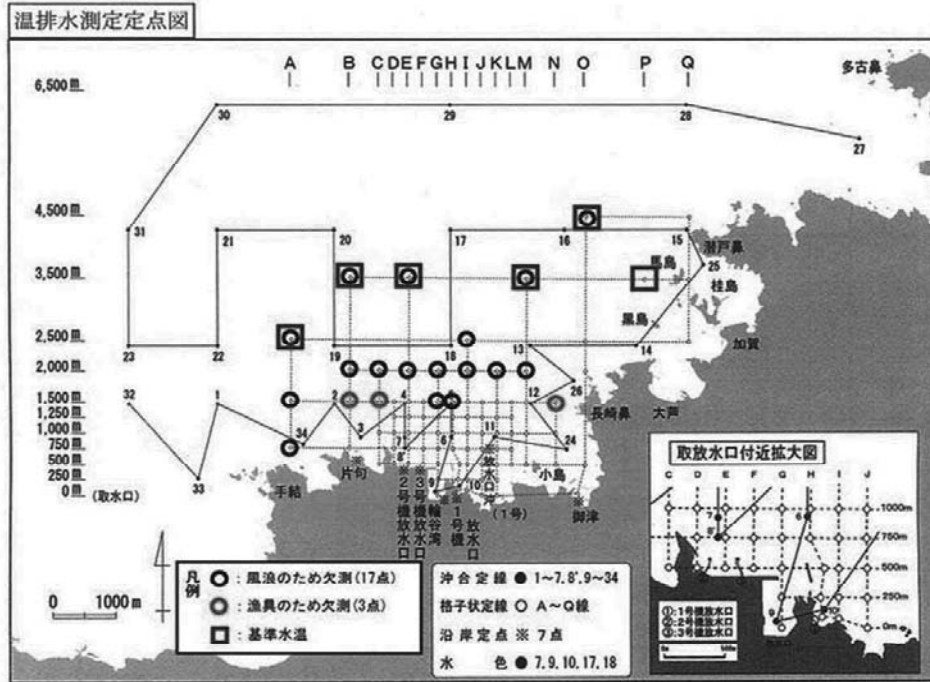
南北方向温度分布図(0m~4500m)

水温の最高 13, 7 水温の最低 13, 4 (°C)





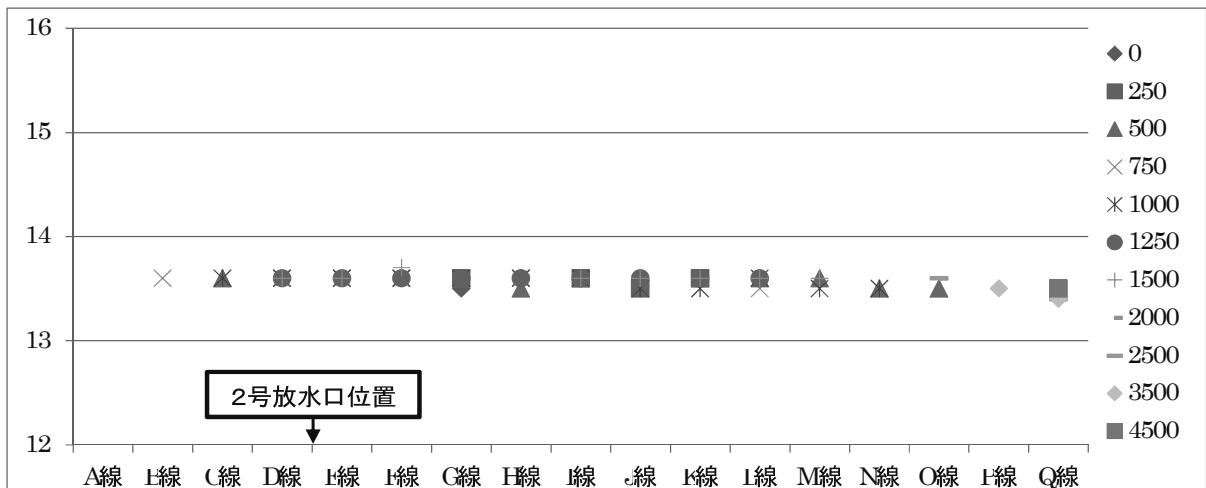
## 6. 格子状定線測定温度分布図(H28.3.23実施) (3/4)



[10m層]

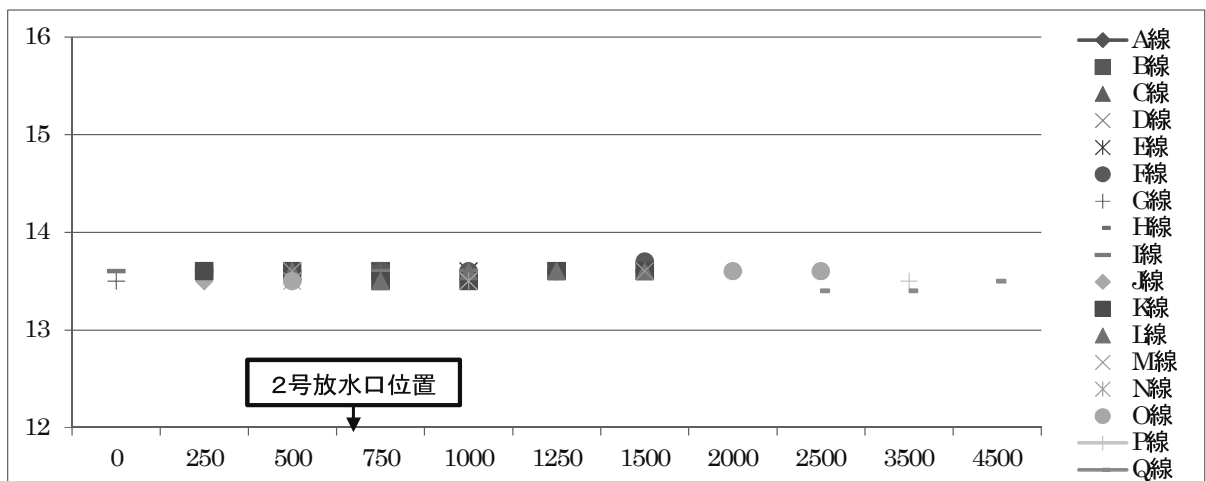
東西方向温度分布図(A線~Q線)

水温の最高 13, 7 水温の最低 13, 4 (°C)

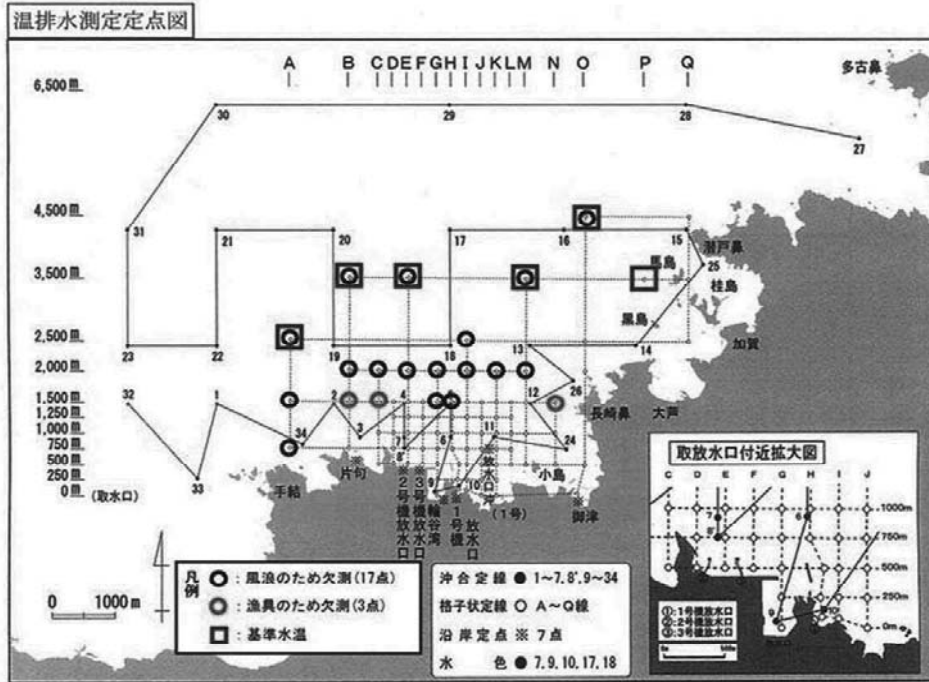


南北方向温度分布図(0m~4500m)

水温の最高 13, 7 水温の最低 13, 4 (°C)



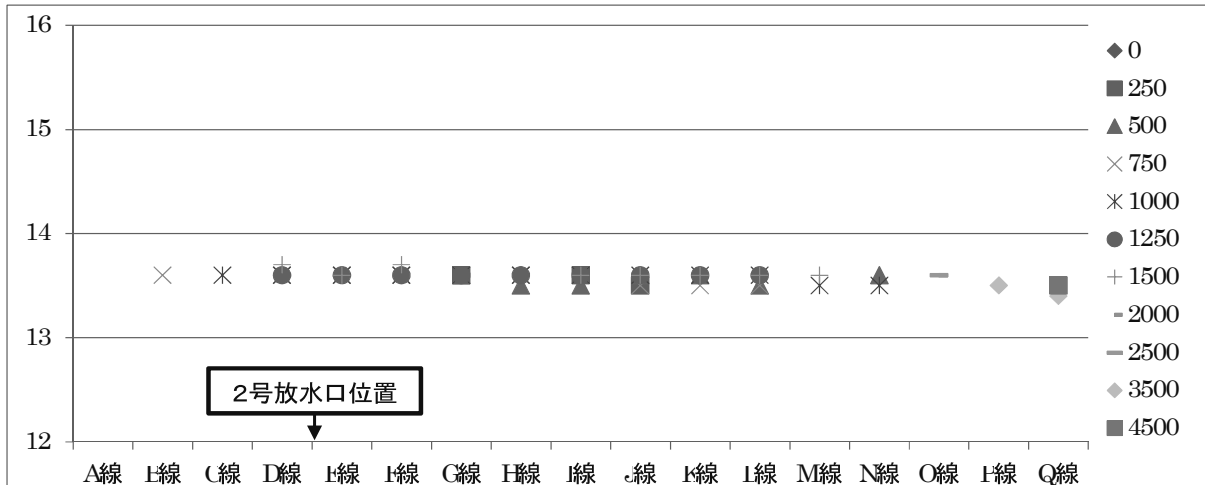
## 6. 格子状定線測定温度分布図(H28.3.23実施) (4/4)



[15m層]

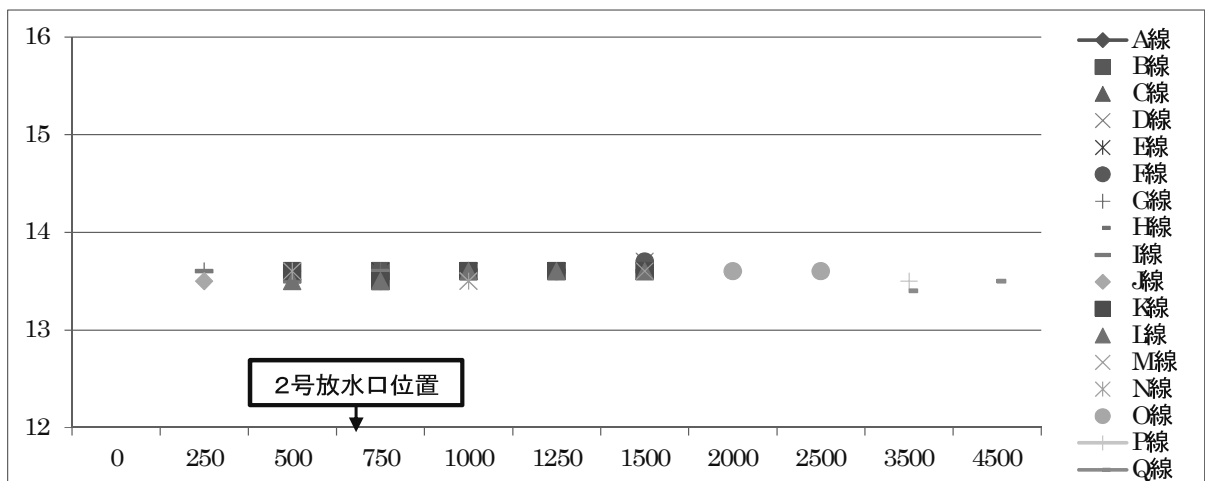
東西方向温度分布図(A線~Q線)

水温の最高 13, 7 水温の最低 13, 4 (°C)



南北方向温度分布図(0m~4500m)

水温の最高 13, 7 水温の最低 13, 4 (°C)



## 用語の解説

### (1) 「平常の変動幅」について

「平常の変動幅」については、「環境放射線モニタリングに関する指針」（原子力安全委員会）において「測定条件等が良く管理されており、かつ原子力施設が平常運転を続けている限り、測定値の変動はある幅の中に納まるはずであり、これを「平常の変動幅」と呼ぶことにする。」と規定されている。

本技術会は測定項目別の「平常の変動幅」を指針に準拠し下表のとおり定めた。

なお、測定値が「平常の変動幅」を外れた場合はその原因を調査している。

### 測定項目別「平常の変動幅」

調査項目	平常の変動幅	更新等
空間放射線の積算線量	前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲とする。	年度毎に更新
モニタリングポストによる空間放射線量率	前年度までの5年間(新設や移設等があった場合は2年間以上)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値 $\pm$ 3 $\times$ 標準偏差)相当の範囲とする。	年度毎に更新
地表面における人工放射能面密度	前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲とする。	年度毎に更新
環境試料中の放射能	前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とする。 ただし、ガンマ線スペクトロメトリー対象核種については福島第1原子力発電所事故の影響があったと思われる平成23、24年度の値を除く前年度までの10年間を対象としている。	年度毎に更新

### (2) 「検出下限値」について

環境試料中の放射能の検出下限値は標準偏差の3倍とする。

本報告書では「検出下限値未満」を「ND」と表記する。

### (3) 環境放射線調査関係

#### 【あ】

R P L D (RadioPhotoLuminescence glass Dosimeterの略、蛍光ガラス線量計)

銀活性化リン酸塩ガラスなどの物質は、放射線を照射した後に紫外線レーザを照射すると、放射線量に比例して発光する性質を有する。このような性質を利用した線量計をR P L Dという。

#### $\alpha$ 線、 $\beta$ 線、 $\gamma$ 線

$\alpha$ 線は、原子核から飛び出した陽子2個と中性子2個が組み合わさった粒子 (He (ヘリウム)の原子核) である。 $\alpha$ 線は物質を透過する力が弱く、皮膚の表面や薄い紙1枚程度で止める (遮蔽する) ことができるが、強い電離作用がある。

$\beta$ 線は、原子核から飛び出した高速の電子である。 $\beta$ 線の物質を透過する力は $\alpha$ 線の約100倍であり、皮膚の表面から数mmの深さまで到達する。薄いアルミニウム板などで止める (遮蔽する) ことができる。

$\gamma$ 線は電磁波であり、励起状態にある原子核が安定状態になる際に放出される。 $\gamma$ 線の物質を透過する力は $\beta$ 線より強く、身体の深部にまで到達する。鉛やコンクリートなどで止める (遮蔽する) ことができる。

#### in-situ測定

「現場での測定」を意味する。本報告書においては、可搬型ゲルマニウム半導体検出器を環境中に運搬し、現場において $\gamma$ 線スペクトロメトリーを行うことを指す。

#### 液体シンチレーション測定

環境試料中の放射性核種を測定するために、測定試料を液体発光物質 (液体シンチレータ) に溶かし、試料が出す放射線が発光物質に衝突して発する光を測定して、放射性核種の分析を行うことがある。これを液体シンチレーション測定という。

$^3\text{H}$  (トリチウム) は液体シンチレーション測定を用いて放射能を測定している。

#### 【か】

#### 核種分析

ほとんどの放射性核種は固有のエネルギーを有する $\gamma$ 線等の放射線を放出しているため、物質から放出される放射線のエネルギーとその放出量を測定することによって、放射性核種がどれだけ含まれているかを知ることができる。このようにして、物質に含まれる放射性核種の種類及び放射能を分析することを核種分析という。

## 環境試料中の放射能

放射性核種の分布や変動の程度を把握するために、一般環境に存在するものを採取し、その放射能分析を行っている。現在のところ、このような環境試料としては、浮遊塵、植物（松葉）、農畜産物、海産生物、陸水、海水、陸土、海底土等がある。

測定結果は試料によって、試料の単位体積あたりの放射能（ $\mu\text{Bq}/\text{m}^3$ 、 $\text{mBq}/\text{l}$ ）、単位面積あたりの放射能（ $\text{kBq}/\text{m}^2$ ）又は単位質量あたりの放射能（ $\text{Bq}/\text{kg}$ ）で表している（ $\mu$ （マイクロ）は100万分の1、 $\text{m}$ （ミリ）は千分の1、 $\text{k}$ （キロ）は千倍）。

## $\gamma$ 線スペクトロメトリー（ $\gamma$ 線分光分析）

$\gamma$ 線スペクトロメータを用いて $\gamma$ 線のエネルギースペクトルの測定を行い、得られたスペクトルを解析することによって、試料に含まれる放射性核種の種類及び放射能の分析を行うことを $\gamma$ 線スペクトロメトリー（ $\gamma$ 線分光分析）という。

## 国際放射線防護委員会（ICRP）

1928年に設立された国際X線・ラジウム防護委員会を継承して設立された国際的な専門家の委員会であり、1950年から放射線防護に関する国際的な基準を勧告してきた。最初の勧告（Publication 1）は1958年に出されている。

この勧告は拘束力を持つものではないが、国際機関および各国の法律制定に大きな影響を与えている。世界の放射線防護はICRPの勧告に基づいて実施されており、日本の放射線防護に係る法令もICRPの勧告を国内で審議のうえ採用している。

## 【さ】

### 積算線量（空間放射線積算線量）

ある地点で一定期間にわたって測定された空間放射線量の積算量をいう。放射線量は物質に吸収されたエネルギーで表す。物質1kgあたり1J（ジュール）のエネルギー吸収をもたらす放射線量を1Gy（グレイ）とする。RPLD（蛍光ガラス線量計）による測定の場合、同一地点で約3ヶ月間測定した値を90日間の値に換算して、mGy（ミリグレイ）/90日で表している（ミリは千分の1）。

### 線量限度

放射線防護の目的のために設定された放射線被ばくの限度のことを指す。放射線が人体に及ぼす確定的影響を防止し、確率的影響を容認できるレベルに制限するために設定されている。日本では、法令によって自然放射線と医療放射線を除いて、職業人に対して $100\text{mSv}/5$ 年かつ $50\text{mSv}/$ 年、一般公衆に対して $1\text{mSv}/$ 年と定めている。

### 線量率（空間放射線量率）

単位時間あたりの空間放射線量をいう。本報告書では、これを1時間あたりの空間放射線量であるnGy（ナノグレイ）/hで表している（ナノは10億分の1）。

## 【た】

TLD (Thermo Luminescence Dosimeterの略、熱ルミネセンス線量計)

CaSO<sub>4</sub> (硫酸カルシウム) やLiF (フッ化リチウム) などの物質は、放射線を照射した後加熱すると発光する性質を有する。この性質を利用した線量計をTLDという。

島根県では、硫酸カルシウムにトリウムを添加したもの (CaSO<sub>4</sub>:Tm) をTLD素子として使用している。

## 【は】

平常の変動幅

測定条件、気象状態や自然環境などによって変動する測定値について、その変動する原因を調査した方がよいかどうかのふり分けをする大まかなレベルのことをいう。

この範囲は、過去のデータを統計処理して求めたものであり、範囲をはずれた測定値については原因調査を行い、原子力発電所の影響の有無を確認する。

なお、この範囲は、人体に影響を生じるレベルよりはるかに低い値であり、人体への影響を評価するためのものではない。

放射化学分析

環境試料中の放射性核種を測定するために、適当な化学的方法により元素の分離・精製を行い、その中に含まれる放射性核種の種類あるいは放射エネルギーを求めることを放射化学分析という。<sup>90</sup>Sr (ストロンチウム90) は放射化学分析により定量を行っている。

放射性核種

放射能をもつ同位元素を放射性核種といい、放射性同位元素といってもよい。例えば天然に存在する原子番号19のカリウムは質量数39のK-39、質量数40のK-40、質量数41のK-41の3種類がある。このうちK-39とK-41は放射能をもたないので安定核種とよぶが、K-40は放射能をもつので放射性核種という。

放射線

空間を伝播、移動するエネルギーの流れで、このうち電離作用をもったものをいう。代表的なものに、α (アルファ) 線、β (ベータ) 線、γ (ガンマ) 線、X (エックス) 線などがある。

放射能と混同して使われることがあるが、異なるものである。

放射能

原子核が不安定であるために壊変し、α線やβ線、またはγ線やX線等の放射線を放出する性質またはその壊変の起きやすさをいう。

放射能 (の強さ) は単位時間における壊変数で表し、Bq (ベクレル) を単位とする。1秒間に1個の原子核が壊変する物質の放射能 (の強さ) は1Bqであるという。

## 【ま】

### 面密度

陸土試料などについて、単位質量あたりの放射能を単位面積あたりの放射能に換算した値。単位はkBq/m<sup>2</sup>など。

### モニタリングカー

空間放射線量率計などの測定装置を備えていて、空間放射線などを移動測定することのできる車をいう。

### モニタリングポスト

空間放射線量率を自動連続測定する装置を備えた野外測定設備をいう。なお、空間放射線量率計に加えて気象観測装置なども備えている設備のことをモニタリングステーションと呼んでいる。

## 【や】

### 預託実効線量

人体組織に対する放射線の影響は、放射線の種類やエネルギーにより異なるため、これを共通の尺度で評価するために使う量を等価線量という。これは物質が単位質量あたりに吸収する放射線のエネルギー（単位：Gy）に換算係数（放射線の種類やエネルギーにより異なる）を乗じたものであり、単位はSv（シーベルト）である。

体内に取り込まれた放射性核種からの被ばく（内部被ばく）の場合、体外に排泄されるまで、または崩壊によって減衰するまで被ばくが続く。このことを考慮して求めた50年間（成人の場合）にわたる等価線量の積分値を預託等価線量という。人体に対する放射線の影響は被ばくする組織によって異なっているため、組織ごとの影響を共通の尺度で評価する必要がある。この目的に使うため、各組織ごとの預託等価線量に荷重係数（ $W_T$ ）を乗じて合計した量を預託実効線量としている。

### （参考）

#### 確率的影響、確定的影響

放射線の被ばくにより生じる影響で、影響の程度は線量に依存しないが、影響が発生する確率と線量との間にはしきい値（それ以下の線量では影響が現れないとされる値）のない比例関係が存在することを確率的影響という。例えば、被ばくした人の子孫に現れる遺伝的影響ならびに被ばくした人に現れる身体的影響のうちの発ガンがこれに当たる。

これに対して、その発生にしきい値線量があり、しきい値以下の線量では影響が現れず、影響の程度が線量に比例すると考えられるものを確定的影響という。例えば、放射線被ばくに起因する皮膚の障害、白内障、不妊などがこれに当たる。

本書は平成27年度放射線監視等交付金事業により作成しました。